

1歴1: 歴代志上 第1章

1歴1:1 アダム、セツ、エノス、

1歴1:2 ケナン、マハラレル、ヤレド、

1歴1:3 エノク、メセラ、ラメク、

1歴1:4 ノア、セム、ハム、ヤペテ。

1歴1:5 ヤペテ、の子らはゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トベル、メセク、テラス。

1歴1:6 ゴメルの子らはアシケナズ、デパテ、トガルマ。

1歴1:7 ヤワンの子らはエリシャ、タルシシ、キツテム、ロダニム。

1歴1:8 ハムの子らはクシ、エジプト、プテ、カナン。

1歴1:9 クシの子らはセバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、サブテカ。ラアマの子らはシバとデダン。

1歴1:10 クシはニムロデを生んだ。ニムロデは初めて世の権力ある者となった。

1歴1:11 エジプトはルデびと、アナムびと、レハブびと、ナフトびと、

1歴1:12 パテロスびと、カスルびと、カフトルびとを生んだ。カフトルびとからペリシテびとが出た。

1歴1:13 カナンは長子シドンとヘテを生んだ。

1歴1:14 またエブスびと、アモリびと、ギルガシびと、

1歴1:15 ヒビびと、アルキびと、セニびと、

1歴1:16 アルワデびと、ゼマリびと、ハマテびとを生んだ。

1歴1:17 セムの子らはエラム、アシュル、アルパクセデ、ルデ、アラム、ウズ、ホル、ゲテル、メセクである。

1歴1:18 アルパクサデはシラを生み、シラはエベルを生んだ。

1歴1:19 エベルはふたりの子が生れた。ひとりの名はペレグーー彼の代に地の民が散り分れたからであるーその弟の名はヨクタンといった。

1歴1:20 ヨクタンはアルモダデ、シャレフ、ハザル・マウテ、エラ、

1歴1:21 ハドラム、ウザル、デクラ、

1歴1:22 エバル、アビマエル、シバ、

1歴1:23 オフル、ハビラ、ヨバブを生んだ。これらはみなヨクタンの子である。

1歴1:24 セム、アルパクサデ、シラ、

1歴1:25 エペル、ペレグ、リウ、

1歴1:26 セルグ、ナホル、テラ、

1歴1:27 アブラムすなわちアブラハムである。

1歴1:28 アブラハムの子らはイサクとイシマエルである。

1歴1:29 彼らの子孫は次のとおりである。イシマエルの長子はネバヨテ、次はケダル、アデビエル、ミブサム、

1歴1:30 ミシマ、ドマ、マッサ、ハダデ、テマ、

1歴1:31 エトル、ネフシ、ケデマ。これらはイシマエルの子孫である。

1歴1:32 アブラハムのそばめケトラの子孫は次のとおりである。彼女はジムラン、ヨクシャン、メダン、ミデアン、イシバク、シュワを生んだ。ヨクシャンの子らはシバとデダンである。

1歴1:33 ミデアンの子らはエパ、エペル、ヘノク、アビダ、エルダア。これらはみなケトラの子孫である。

1歴1:34 アブラハムはイサクを生んだ。イサクの子らはエサウとイスラエル。

1歴1:35 エサウの子らはエリパズ、リウエル、エウシ、ヤラム、コラ。

1歴1:36 エリパズの子らはテマン、オマル、ゼピ、ガタム、ケナズ、テムナ、アマレク。

1歴1:37 リウエルの子らはナハテ、ゼラ、シャンマ、ミツァ。

1歴1:38 セイルの子らはロタン、ショバル、チベオン、アナ、デション、エゼル、デシャン。

1歴1:39 ロタンの子らはホリとホナム。ロタンの妹はテムナ。

1歴1:40 ショバルの子らはアルヤン、マナハテ、エバル、シビ、オナム。チベオンの子らはアヤとアナ。

1歴1:41 アナの子はデション。デションの子らはハムラン、エシバン、イテラン、ケラン。

1歴1:42 エゼルの子らはビルハン、ザワン、ヤカン。デシャンの子らはウズとアラン。

1歴1:43 イスラエルの人々を治める王がまだなかった時、エドムの地を治めた王たちは次のとおりである。ベオルの子ベラ。その都の名はデナバといった。

1歴1:44 ベラが死んで、ボズラのゼラの子ヨバブが代って王となった。

1歴1:45 ヨバブが死んで、テマンびとの地のホシヤムが代って王となった。

1歴1:46 ホシヤムが死んで、ベダデの子ハダデが代って王となった。彼はモアブの野でミデアンを撃った。彼の都の名はアビテといった。

1歴1:47 ハダデが死んで、マスレカのサムラが代って王となった。  
1歴1:48 サムラが死んで、ユフラテ川のほとりのレホデテのサウルが代って王となった。  
1歴1:49 SDAURUが死んで、アクボルの子バアル・ハナンが代って王となった。  
1歴1:50 バアル・ハナンが死んで、ハダデが代って王となった。彼の都の名はパイといった。彼の妻はマテレデの娘であって、名をメヘタベルといった。マテレデはメザハブの娘である。  
1歴1:51 ハダデも死んだ。エドムの族長はテムナ候、アルヤ候、エテテ候、  
1歴1:52 アホリバマ候、エラ候、ピノン候、  
1歴1:53 ケナズ候、テマン候、ミブザル候、  
1歴1:54 マグデエル候、イラム候。これらはエドムの族長である。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴2: 歴代志上 第2章  
1歴2:1 イスラエルの子らは次のとおりである。ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン、  
1歴2:2 ダン、ヨセフ、ベニヤミン、ナフタリ、ガド、アセル。  
1歴2:3 ユダの子らはエル、オナン、シラである。この3人はカナンの子バテシュアがユダによって生んだ者である。ユダの長子エルは主の前に悪を行ったので、主は彼を殺された。  
1歴2:4 ユダの嫁タマルはユダによってペレヅとゼラを産んだ。ユダの子らは併せて5人である。  
1歴2:5 ペレヅの子らはヘヅロンとハムル。  
1歴2:6 ゼラの子らはジムリ、エタン、ヘマン、カルコル、ダラで、合わせて5人である。  
1歴2:7 カルミの子はアカル。アカルは奉納物について罪を犯し、イスラエルを悩ました者である。  
1歴2:8 エタンの子はアザリヤである。  
1歴2:9 ヘヅロンに生れた子らはエラメル、ラム、ケルバイである。  
1歴2:10 ラムはアミナダブを生み、アミナダブはユダの子孫のつかさナシオンを産んだ。  
1歴2:11 ナシオンはサルマを生みサルマはボアズを生み、  
1歴2:12 ボアズはオベデを生み、オベデはエッサイを生んだ。  
1歴2:13 エッサイは長子エリアブ、次にアビナダブ、第3にシメア、  
1歴2:14 第4にネタンエル、第5にラダイ、  
1歴2:15 第6にオゼム、第7にダビデを生んだ。  
1歴2:16 彼らの姉妹はゼルヤとアビガイルである。ゼルヤの産んだ子はアビシャイ、ヨアブ、アサヘルの3人である。  
1歴2:17 アビガイルはアマサを産んだ。アマサの父はイシマエルびとエテルである。  
1歴2:18 ヘヅロンの子カレブはその妻アズバおよびエリオテによって子をもうけた。その子らはエシル、シヨバブ、アルドンである。  
1歴2:19 カレブはアズバが死んだのでエフラタをめとった。エフラタはカレブによってホルを産んだ。  
1歴2:20 ホルはウリを生み、ウリはベザレルを生んだ。  
1歴2:21 そののちヘヅロンはギレアデの父マキルの娘の所にはいった。彼が彼女をめとったときは60歳であった。彼女はヘヅロンによってセグブを産んだ。  
1歴2:22 セグブはヤイルを産んだ。ヤイルはギレアデの地に23の町をもっていた。  
1歴2:23 しかしゲシュルとアラムは彼らからハボテ・ヤイルおよびケナテとSNO村里など合わせて60の町を取った。これらはみなギレアデの父マキルの子孫であった。  
1歴2:24 ヘヅロンが死んだのち、カレブは父ヘヅロンの妻エフラタの所にはいった。彼女は彼にテコアの父アシルを産んだ。  
1歴2:25 ヘヅロンの長子エラメルの子らは長子ラム、次はブナ、オレン、オゼム、アヒヤである。  
1歴2:26 エラメルはまたほかの妻をもっていた。名をアタラといって、オナムの母である。  
1歴2:27 エラメルの子らはマアツ、ヤミン、エケルである。  
1歴2:28 オナムの子らはシャンマイとヤダである。シャンマイの子らはナダブとアビシュルである。  
1歴2:29 アビシュルの妻の名はアビハイルといって、アバンとモリデを産んだ。  
1歴2:30 ナダブの子らはセレデとアツパイムである。セレデは子をもたずに死んだ。

1歴2:31 アッパイクの子はイシ、イシの子はセシャン、セシャンの子はアヘライである。  
1歴2:32 シャンマイの兄弟ヤダの子らはエテルとヨナタンである。エテルは子をもたずに死んだ。  
1歴2:33 ヨナタンの子らはペレテとザザである。以上はエラメルの子孫である。  
1歴2:34 セシャンには男の子はなく、ただ女の子のみであったが、彼はヤルハと呼ぶエジプトびとの奴隷をもっていたので、  
1歴2:35 セシャンは娘を奴隷ヤルハに与えてその妻とさせた。彼女はヤルハによってアツタイを産んだ。  
1歴2:36 アツタイはナタンを生み、ナタンはザバデを生み、  
1歴2:37 ザバデはエフラルを生み、エフラルはオベデを生み、  
1歴2:38 オベデはエヒウを生み、エヒウザリヤを生み、  
1歴2:39 アザリヤはヘレヅを生み、ヘレヅはエレアサを生み、  
1歴2:40 エレアサはシスマイを生み、シスマイはシャルムを生み、  
1歴2:41 シャルムはエカミヤを生み、エカミヤはエリシャマを生んだ。  
1歴2:42 エラメルの兄弟であるカレブの子らは長子をマレシャとってジフの父である。マレシャの子はヘブロン。  
1歴2:43 ヘブロンの子らはコラ、タツア、レケム、シマである。  
1歴2:44 シマはラハムを生んだ。ラハムはヨルカムヨルカムの父である。またレケムはシャンマイを生んだ。  
1歴2:45 シャンマイの子はマオン。マオンはベテヅルの父である。  
1歴2:46 カレブのそばめエパはハラン、モザ、ガゼズを産んだ。ハランはガゼズを生んだ。  
1歴2:47 エダイの子らはレゲム、ヨタム、ゲシャン、ペレテ、エパ、シャブである。  
1歴2:48 カレブのそばめマアカはシベルとテルハナを産み、  
1歴2:49 またマデマンナの父シャブおよびマクベナとギベアの父シワを産んだ。カレブの娘はアクサである。  
1歴2:50 これらはカレブの子孫であった。エフラタの長子ホルの子らはキリアテ・ヤリムの父ショバル、  
1歴2:51 ベツレヘムの父サルマおよびベテガデルの父ハレフである。  
1歴2:52 キリアテ・ヤリムの父ショバルの子らはハロエとメヌコテびとの半ばである。  
1歴2:53 キリアテ・ヤリムの氏族はイテルびと、ブテびと、シュマびと、ミシラびとであって、これらからザレアびとおよびエシタオルびとが出た。  
1歴2:54 サルマの子らはベツレヘム、ネトパびと、アタロテ・ベテ・ヨアブ、アナハテびとの半ばおよびゾリびとである。  
1歴2:55 またヤベヅに住んでいた書記の氏族はテラテびと、シメアテびと、スカテびとである。これらはケニびとであってレカブの家の先祖ハマテから出た者である。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴3: 歴代志上 第3章  
1歴3:1 ヘブロンで生れたダビデの子らは次のとおりである。長子アムノンアムノンはエズレルびとアヒノアムアヒノアムから生れ、次はダニエルダニエルでカルメルびとアビガイルアビガイルから生れ、  
1歴3:2 第3はアブサロムアブサロムでゲシュルの王タルマイタルマイの娘マアカマアカの生んだ子、第4はアドニヤアドニヤでハギテハギテの生んだ子、  
1歴3:3 第5はシパテヤシパテヤでアビタルアビタルから生れ、第6はイテレアムイテレアムで、彼の妻エグラエグラから生れた。  
1歴3:4 この6人はヘブロンで彼に生れた。ダビデがそこで王となっていたのは7年6か月、エルサレムで王となっていたのは33年であった。  
1歴3:5 エルサレムで生れたものは次のとおりである。すなわちシメア、ショバブ、ナタン、ソロモン。この4人はアンミエルアンミエルの娘バテシュアバテシュアから生れた。  
1歴3:6 またイブハル、エリシャマ、エリペレテ、  
1歴3:7 ノガ、ネベグ、ヤピア、  
1歴3:8 エリシャマ、エリアダ、エリペレテの9人、  
1歴3:9 これらはみなダビデの子である。このほかに、そばめどもの生んだ子らがあり、タマルは彼らの姉妹であった。  
1歴3:10 ソロモンの子はレハベアム、その子はアビヤ、その子はアサ、その子はヨシャパテ、  
1歴3:11 その子はヨラム、その子はアハジヤ、その子はヨアシ、

1歴3:12 その子はアマジヤ、その子はアザリヤ、その子はヨタム、  
1歴3:13 その子はアハズ、その子はヒゼキヤ、その子はマナセ、  
1歴3:14 その子はアモン、その子はヨシヤ、  
1歴3:15 ヨシヤの子らは長子はヨハナン、次はエホヤキム、第3はゼデキヤ、第4はシャルムである。  
1歴3:16 エホヤキムの子孫はその子はエコニア、その子はゼデキヤである。  
1歴3:17 捕虜となったエコニヤの子らはその子シャルテル、  
1歴3:18 マルキラム、ペダヤ、セナザル、エカミア、ホシャマ、ネダビヤである。  
1歴3:19 ペダヤの子らはゼルバベルとシメイである。ゼルバベルの子らはメシュラムとハナニヤ。シロミテは彼らの姉妹である。  
1歴3:20 またハシュバ、オヘル、ベレキヤ、ハサデヤ、ユサブ・ヘセデの5人がある。  
1歴3:21 ハナニヤの子らはペラテヤとエシャヤ、その子レパヤ、その子アルナン、その子オバデヤ、その子シカニヤである。  
1歴3:22 シカニヤの子らはシマヤ。シマヤの子らはハットシ、イガル、バリア、ネアリヤ、シャパテの6人である。  
1歴3:23 ネアリヤの子らはエリオエナイ、ヒゼキヤ、アズリカムの3人である。  
1歴3:24 エリオエネイの子らはホダヤ、エリアシブ、ペラヤ、アックブ、ヨハナン、デラヤ、アナニの7人である。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴4: 歴代志上 第4章  
1歴4:1 ユダの子らはベレヅ、ヘヅロン、カルミ、ホル、シヨバルである。  
1歴4:2 シヨバルの子レアヤはヤハテを生み、ヤハテはアホマイとラハデを生んだ。これらはザレアびとの一族である。  
1歴4:3 エタムの子らはエズレル、イシマおよびイデバシ、彼らの姉妹の名はハゼレルポニである。  
1歴4:4 ゲドルの父はペヌエル、ホシャの父はエゼルである。これらはベツレヘムの父エフラタの長子ホルの子らである。  
1歴4:5 テコアの父アシュルにはふたりの妻ヘラとナアラとがあった。  
1歴4:6 ナアラはアシュルによってアホザム、ヘペル、テメニおよびアハシタリを生んだ。これらはナアラの子である。  
1歴4:7 ヘラの子らはゼレテ、エヅアル、エテナンである。  
1歴4:8 コヅはアヌブとゾババを生んだ。またハレムの子アハルヘルの氏族も彼から出た。  
1歴4:9 ヤベヅはその兄弟のうちで最も尊ばれた者であった。その母が“わたしは苦しんでこの子を産んだから”と言ってその名をヤベヅと名づけたのである。  
1歴4:10 ヤベヅはイスラエルの神に呼ばわって言った、“どうか、あなたが豊かにわたしを恵み、わたしの国境を広げ、あなたの手がわたしとともにあって、わたしを災から免れさせ、苦しみをうけさせられないように”。神は彼の求めるところをゆるされた。  
1歴4:11 シュワの兄弟ケルブはメルを産んだ。メルはエジプトの父、  
1歴4:12 エシトンはベテラバ、パセアおよびイルナハシの父テヒンナを生んだ。これらはレカの人々である。  
1歴4:13 ケナズの子らはオテニエルとセラヤ。オテニエルの子らはハタテとメオノタイ。  
1歴4:14 メオノタイはオフラを生み、セラヤはゲハラシムの父ヨアブを生んだ。彼らは工人であったのでゲハラシムと呼ばれたので、ある。  
1歴4:15 エフンネの子カレブの子らはイル、エラおよびナアム。エラの子はケナズ。  
1歴4:16 エハレルの子らはジフ、ジバ、テリア、アサレルである。  
1歴4:17 エズラの子らはエテルメレデ、エペル、ヤロン。の次のものはメレデがめとったパロの娘ビテヤの子らである。すなわち彼女はみごもってミリアム、シャンマイおよびイシバを生んだ。イシバはエシテモアの父である。  
1歴4:18 彼の妻はユダヤ人で、ゲドルの父エレデとソコの父ヘベルとザノアの父エクテエルを生んだ。  
1歴4:19 ナハムの姉妹であるホダヤの妻の子らはガルムびととケイラの父およびマアカびとエシテモアである。  
1歴4:20 シモンの子らはアムノン、リンナ、ベネハナン、テロンである。イシの子らはゾヘテとベネゾヘテである。  
1歴4:21 ユダの子シラの子らはレカの父エル、マレシャの父ラダおよびベテアシベアの亜麻布織の家の一族、  
1歴4:22 ならびにモアブを治めてレヘムに帰ったヨキム、ヨゼバの人々、ヨアシおよびサラフである。その記録は

古い。

1歴4:23 これらの者は陶器を造る人で、ネタイムおよびゲデラに住み、王の用をするため、王とともに、そこに住んだ。

1歴4:24 シメオンの子らはネムエル、ヤミン、ヤリブ、ゼラ、シャウル。

1歴4:25 シャウルの子はシャルム、その子はミブサム、その子はミシマ。

1歴4:26 ミシマの氏族は、その子はハムエル、その子はザックル、その子はシメイ。

1歴4:27 シメイには男の子16人、女の子6人あったが、その兄弟たちには多くの子はなかった。またその氏族の者はすべてユダの子孫ほどにはふえなかった。

1歴4:28 彼らの住んだ所はベエルシバ、モラダ、ハゼル・シャアル、

1歴4:29 ビルハ、エゼムトラデ、

1歴4:30 ベトエル、ホルマ、チクラグ、

1歴4:31 ベテ・マルカボテ、ハザル・スシム、ベテ・ビリ、およびシャライムである。これらはダビデの世に至るまで彼らの町であった。

1歴4:32 その村里はエタム、アイン、リンモン、トケン、アジャンの5つの町である。

1歴4:33 またこれらの町々の周囲に多くの村があって、バアルまでおよんだ。彼らのすみかは以上のとおりで、彼らはおのおの系図をもっていた。

1歴4:34 メシヨバブ、ヤムレク、アマジヤの子ヨシヤ、

1歴4:35 ヨエル、アシエルのひこ、セラヤの孫、ヨシビアの子エヒウ。

1歴4:36 エリオネイ、ヤコバ、エシヨハヤ、アサヤ、アデエル、エシミエル、ベナヤ、

1歴4:37 およびシビの子ジザ。シビはアロンの子、アロンはエダヤの子、エダヤはシムリの子、シムリはシマヤの子である。

1歴4:38 ここに名をあげた者どもはその氏族の長であって、それらの氏族は大いにふえ広がった。

1歴4:39 彼らは群れのために牧場を求めてゲドルの入口に行き、谷の東の方まで進み、

1歴4:40 ついに豊かな良い牧場を見いだした。その地は広く穏やかで、安らかであった。その地の前の住民はハムびとであったからである。

1歴4:41 これらの名をしるした者どもはユダの王ヒゼキヤの世に行き、彼らの天幕と、そこにいたメウニびとを撃ち破り、彼らをことごとく滅ぼして今日に至っている。そこには、群れのための牧場があったので、彼らはそこに住んだ。

1歴4:42 またシメオンびとのうち5百人はイシの子らペラテヤ、ネアリヤ、レパヤ、ウジエルをかしらとしてセイルの山に行き、

1歴4:43 アマレクびとで、のがれて残っていた者を撃ち滅ぼして、今日までそこに住んでいる。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴5: 歴代志上 第5章

1歴5:1 イスラエルの長子ルベンの子らは次のとおりである。――ルベンは長子であったが父の床を汚したので、長子の権はイスラエルの子ヨセフの子らに与えられた。それで長子の権による系図にしるされていない。

1歴5:2 またユダは兄弟たちにまさる者となり、その中から君たる者がでたが長子の権はヨセフのものとなったのである。――

1歴5:3 すなわちイスラエルの長子ルベンの子らはハノク、パル、ヘヅロン、カルミ。

1歴5:4 ヨエルの子らはその子シマヤ、その子はゴグ、その子はシメイ、

1歴5:5 その子はミカ、その子はレアヤ、その子はバアル、

1歴5:6 その子はベエラである。このベエラはアスリヤの王テルガテ・ピルネセルが捕え移した者である。彼はルベンびとのつかさであった。

1歴5:7 彼の兄弟たちは、その氏族により、その歴代の系図によれば、かしらエイエルおよびゼカリヤ、

1歴5:8 ベラなどである。ベラはアザズの子、シマの孫、ヨエルのひこである。彼はアロエルに住み、ネボおよびバアル・メオンまで及んでいたが、

1歴5:9 ギレアデの地で彼の家畜がふえ増したので、彼は東の方ユフラテ川のこなたの荒野の入口にまで住んだ。

1歴5:10 またサウルの時、彼らはハガルびとと戦って、これを撃ち倒し、ギレアデの東の全部にわたって彼らの天幕に住んだ。

1歴5:11 ガドの子孫はこれと相対してバシヤンの地に住み、サルカまで及んでいた。

1歴5:12 そのかしらはヨエル、次はシャパム、ヤアナイ、シャパテで、ともにバシヤンに住んだ。

1歴5:13 彼らの兄弟たちは、その氏族によればミカエル、メシュラムシバ、ヨライ、ヤカン、ジア、エベルの7人である。

1歴5:14 これらはホリの子アビハイルの子らである。ホリはヤロアの子、ヤロアはギレアデの子、ギレアデはミカエルの子、ミカエルはエシサイの子、エシサイはヤドはブズの子である。

1歴5:15 アヒはアブデルの子、アブデルはグニの子、グニは氏族の長である。

1歴5:16 彼らはギレアデとバシヤンとその村里とシャロンのすべての放牧地に住んで、その四方の境にまで及んでいた。

1歴5:17 これらはみなユダの王ヨタムの世とイスラエルの王ヤラベアムの世に系図にのせられた。

1歴5:18 ルベンびとと、ガドびとと、マナセの半部族には出て戦いうる者4万4千7百60人であり、皆勇士で、盾とつるぎをとり、弓をひき、戦いに巧みな人々であった。

1歴5:19 彼らはハガルびとおよびエトル、ネフシ、ノダブなどと戦ったが、

1歴5:20 助けを得てこれを攻めたので、ハガルびとおよびこれとともにいた者は皆、彼らの手にわたされた。これは彼らが戦いにあたって神に呼ばわり、神に寄り頼んだので神はその願いを聞かれたからである。

1歴5:21 彼らはその家畜を奪い取ったが、らくだ5万、羊25万、ろば2千あり、また人は10万人あった。

1歴5:22 これはその戦いが神によったので、多くの者が殺されて倒れたからである。そして彼らは捕え移される時まで、これに代ってその所に住んだ。

1歴5:23 マナセの半部族の人々はこの地に住み、ふえ広がって、ついにバシヤンからバアル・ヘルモン、セニルおよびヘルモン山にまで及んだ。

1歴5:24 その氏族の長たちは次のとおりである。すなわち、エベル、イシ、エリエル、アズリエル、エレミヤ、ホダヤ、ヤデエル。これらは皆その氏族の長で名高い大勇士であった。

1歴5:25 彼らは先祖たちの神にむかって罪を犯し、神が、かつて彼らの前から滅ぼされた国の民の神々を慕って、これと姦淫したので、

1歴5:26 イスラエルの神は、アッスリヤの王ブルの心を奮い起し、またアッスリヤの王テルガテ・ピルネセルの心を奮い起されたので、彼はついにルベンびとと、ガドびとと、マナセの半部族を捕えて行き、ハウラとハボルとハラとゴザン川のほとりに移して今日に至っている。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴6: 歴代志上 第6章

1歴6:1 レビの子らはゲルシオン、コハテ、メラリ。

1歴6:2 コハテの子らはアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエル。

1歴6:3 アムラムの子らはアロン、モーセ、ミリアム、アロンの子らはナダブ、アビウ、エレアザル、イタマル。

1歴6:4 エレアザルはネハスを生み、ピネハスはアビシュアを生み、

1歴6:5 アビシュアはブッキを生み、ブッキはウジを生み、

1歴6:6 ウジはゼラヒヤを生み、ゼラヒヤはメラヨテを生み、

1歴6:7 メラヨテはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブを生み、

1歴6:8 アヒトブはザドクを生み、ザドクはアヒマズを生み、

1歴6:9 アヒマズはアザリヤを生み、アザリヤはヨハナンを生み、

1歴6:10 ヨハナンはアザリヤを生んだ。このアザリヤはソロモンがエルサレムに建てた宮で祭司の勤めをした者である。

1歴6:11 アザリヤはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブを生み、

1歴6:12 アヒトブはザドクを生み、ザドクはシャルムを生み、

1歴6:13 シャルムはヒルキヤを生み、ヒルキヤはアザリヤを生み、

1歴6:14 アザリヤはセラヤを生み、セラヤはヨザダクを生んだ。

1歴6:15 ヨザダクは主がネブカデネザルの手によってユダとエルサレムの人を捕え移された時に捕らえられて行

った。

1歴6:16 レビの子らはゲルシオン、コハテおよびメラリ。

1歴6:17 ゲルシオンの子らの名はリブニとシメイ。

1歴6:18 コハテの子らはアムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエルである。

1歴6:19 メラリの子らはマヘリとムシ。これらはレビびとのその家筋による氏族である。

1歴6:20 ゲルシオンの子はリブニ、その子はヤハテ、その子はジンマ、

1歴6:21 その子はヨア、その子はイド、その子はゼラ、その子はヤテライ。

1歴6:22 コハテの子はアミナダブ、その子はコラ、その子はアシル、

1歴6:23 その子はエルカナ、その子はエビアサフ、その子はアシル、

1歴6:24 その子はタハテ、その子はウリエル、その子はウジヤ、その子はシャウル。

1歴6:25 エルカナの子らはアマサイとアヒモテ、

1歴6:26 その子はエルカナ、その子はゾパイ、その子はナハテ、

1歴6:27 その子はエリアブ、その子はエロハム、その子はエルカナ。

1歴6:28 サムエルの子らは、長子はヨエル、次はアビヤ。

1歴6:29 メラリの子はマヘリ、その子はリブニ、その子はシメイ、その子はウザ、

1歴6:30 その子はシメア、その子はハギヤ、その子はアサヤである。

1歴6:31 契約の箱を安置したのち、ダビデが主の宮で歌をうたう事をつかさどらせた人々は次のとおりである。

1歴6:32 彼らは会見の幕屋の前で歌をもって仕えたが、ソロモンがエルサレムに主の宮を建ててからは、一定の秩序に従って務を行った。

1歴6:33 その務をしたもの、およびその子らは次のとおりである。コハテびとの子らのうちヘマンは歌をうたう者、ヘマンはヨエルの子、ヨエルはサムエルの子、

1歴6:34 サムエルはエルカナの子、エルカナはエロハムの子、エロハムはエリエルの子、エリエルはトアの子、

1歴6:35 トアはヅフの子、ヅフはエルカナの子、エルカナはマハテの子、マハテはアマサイの子、

1歴6:36 アマサイはエルカナの子、エルカナはヨエルの子、ヨエルはアザリヤの子、アザリヤはザパニヤの子、

1歴6:37 ゼパニヤはタハテの子、タハテはアシルの子、アシルはエビアサフの子、エビアサフはコラの子、

1歴6:38 コラはイツハルの子、イツハルはコハテの子、コハテはレビの子、レビはイスラエルの子である。

1歴6:39 ヘマンの兄弟アサフはヘマンの右に立った。アサフはベレキヤの子、ベレキヤはシマアの子、

1歴6:40 シメアはミカエルの子、ミカエルはバアセヤの子、バアセヤはマルキヤの子、

1歴6:41 マルキヤはエテニの子、エテニはゼラの子、ゼラはアダヤの子、

1歴6:42 アダヤはエタンの子、エタンはジンマの子、ジンマはシメイの子、

1歴6:43 シメイはヤハテの子、ヤハテはゲルシオンの子、ゲルシオンはレビの子である。

1歴6:44 また彼らの兄弟であるメラリの子らが左に立った。そのうちのエタンはキシの子、キシはアブデの子、アブデはマルクの子、

1歴6:45 マルクはハシャビヤの子、ハシャビヤはアマジヤの子、アマジヤはヒルキヤの子、

1歴6:46 ヒルキヤはアムジの子、アムジはバニの子、バニはセメルの子、

1歴6:47 セメルはマヘリの子、マヘリはムシの子、ムシはメラリの子、メラリはレビの子である。

1歴6:48 彼らの兄弟であるレビびとたちは、神の宮の幕屋のもろもろの務に任じられた。

1歴6:49 アロンとその子らは燔祭の壇と香の祭壇の上にささげることなし、また至聖所のすべてのわざをなし、かつイスラエルのためにあがないをなした。すべて神のしもべモーセの命じたとおりである。

1歴6:50 アロンの子孫は次のとおりである。アロンの子はエレアザル、その子はビネハス、その子はアビシュア、

1歴6:51 その子はブッキ、その子はウジ、その子はゼラヒヤ、

1歴6:52 その子はメラヨテ、その子はアマリヤ、その子はアヒブ、

1歴6:53 その子はザドク、その子はアヒマズである。

1歴6:54 アロンの子孫の住む所はその境のうちにある宿営によっていけば次のとおりである。まずコハテびとの氏族がくじによって得たところ、

1歴6:55 すなわち彼らと与えられたところは、ユダの地にあるヘブロンとその周囲の放牧地である。

1歴6:56 ただし、その町の田畑とその村々は、エフネの子カレブに与えられた。

1歴6:57 そしてアロンの子孫に与えられたものは、のがれの町であるヘブロンおよびリブナとの放牧地、ヤッテルおよびエシテモアとその放牧地、

1歴6:58 ヒレンとその放牧地、デビルとその放牧地、

1歴6:59 アシヤンとその放牧地、ベテシメシとその放牧地である。

1歴6:60 またベニヤミンの部族のうちからはゲバとその放牧地、アレメテとその放牧地、アナトテとその放牧地を与えられた。彼らの町は、すべてその氏族のうちに13あった。

1歴6:61 またコハテの子孫の残りの者は部族氏族のうちからと、半部族すなわちマナセの半部族のうちからくじによって10の町を与えられた。

1歴6:62 またゲルシヨンの子孫はその氏族によってイッサカルの部族、アセルの部族、ナフタリの部族、およびバシヤンのマナセの部族のうちから13の町を与えられた。

1歴6:63 メラリの子孫はその氏族によってルベンの部族、ガドの部族、およびゼブルンの部族、およびゼブルンの部族のうちからくじによって12の町を与えられた。

1歴6:64 このようにイスラエルの人々はレビびとに町々とその放牧地とを与えた。

1歴6:65 すなわちユダの子孫の部族とシメオンの部族の子孫と、ベニヤミンの子孫の部族のうちからここに名をあげたこれらの町をくじによって与えた。

1歴6:66 コハテの子孫の氏族はまたエフライムの部族のうちからも町々を獲てその領地とした。

1歴6:67 すなわち彼が与えられた、のがれの町はエルライムの山地にあるシケムとsno放牧地、ゲゼルとその放牧地、

1歴6:68 ヨクメアムとその放牧地、ベテホロンとその放牧地、

1歴6:69 アヤロンとその放牧地、ガテリンモンとその放牧地である。

1歴6:70 またマナセの半部族のうちからは、アネルとその放牧地およびビレアムとその放牧地を、コハテの子孫の氏族の残りのものにと与えた。

1歴6:71 ゲルシヨンの子孫に与えられたものはマナセの半部族のうちからはバシヤンのゴランとその放牧地、アシタロテとその放牧地。

1歴6:72 イッサカルの部族のうちからはケデンとその放牧地、ダベラテとその放牧地、

1歴6:73 ラモテとその放牧地、アネムおその放牧地、

1歴6:74 アセルの部族のうちからはマシャルとその放牧地、アブドンとその放牧地、

1歴6:75 ホコクとその放牧地、レホブの放牧地。

1歴6:76 ナフタリの部族のうちからはガリラヤのケデシとその放牧地、ハンモンとその放牧地、キリアタイムとその放牧地である。

1歴6:77 このほかのもの、すなわちメラリの子孫に与えられたものはゼブルンの部族のうちからリンモンとその放牧地、タボルとその放牧地、

1歴6:78 エリコに近いヨルダンのかなた、すなわちヨルダンの東ではルベンの部族のうちからは荒野のベゼルとその放牧地、ヤザとその放牧地、

1歴6:79 ケデモテとその放牧地、メパアテとその放牧地、

1歴6:80 ガドの部族のうちからはギレアデのラモテとその放牧地、マハナイムとsno放牧地、

1歴6:81 ヘシボンとその放牧地、ヤゼルとその放牧地である。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴7: 歴代志上 第7章

1歴7:1 イッサカルの子らはトラ、プワ、ヤシュブ、シムロムの4人、

1歴7:2 トラの子らはウジ、レパヤ、エリエル、ヤマイ、エブサム、サムエル。これは皆トラの子で、その氏族の長である。その子孫の大勇士たるダビデの世にはその数2万2千6百人であった。

1歴7:3 ウジの子はイスラヒヤ、イスラヒヤの子らはミカエル、オバデヤ、ヨエル、イシアの5人で、みな長たる者である。

1歴7:4 その子孫のうちに、その氏族に従えば軍勢の士卒3万6千人あった。これは彼らが妻子を多くもっていたからである。

1歴7:5 イッサカルのすべての氏族のうちの兄弟たちで系図によって数えられた大勇士は合わせて8万7千人あった。

1歴7:6 ベニヤミンの子らはベラ、ベケル、エデアエルの3人。

1歴7:7 ベラの子らはエツボン、ウジ、ウジエル、エレモテ、イリの5人で、皆その氏族の長である。その系図によって数えられた大勇士は2万2千34人あった。

- 1歴7:8 ベケルの子らはゼミラ、ヨアシ、エリエゼル、エリオエナイ、オムリ、エレモテ、アビヤ、アナトテ、アラメテで皆ベケルの子らである。
- 1歴7:9 その子孫のうち、その氏族の長として系図によって数えられた大勇士は2万2百人であった。
- 1歴7:10 エデアエルの子はビルハン。ビルハンの子らはエウシ、ベニヤミン、エホデ、ケナアナ、ゼタン、タルシシ、アヒシャハル。
- 1歴7:11 皆エデアエルの子らで氏族の長であった。その子孫のうちには、いくさに出てよく戦う大勇士が1万7千2百人あった。
- 1歴7:12 またイルの子らはシュバムとホバム。アヘルの子はホシムである。
- 1歴7:13 ナフタリの子らはヤハジエル、ダニ、エゼル、シャルムで皆ビルハの産んだ子である。
- 1歴7:14 マナセの子はそのそばめであるスリヤの女の産んだアシリエル。彼女はまたギレアデの父マキルを産んだ。
- 1歴7:15 マルキはホバムとシュバムの妹マアカという者を妻にめとった。2番目の子はゼルペハデという。ゼロペハデには女の子だけがあつた。
- 1歴7:16 マキルの妻マアカは男の子を産んで名をペレシと名づけた。その弟の名はシュレシ。シャレシの子らはウラムとラケムである。
- 1歴7:17 ウラムの子はベダン。これらはマナセの子マキルの子であるギレアデの子らである。
- 1歴7:18 その妹ハンモレケテはイシホデ、アビエゼル、マヘラを産んだ。
- 1歴7:19 セミダの子らはアヒアン、シケム、リキ、アニウムである。
- 1歴7:20 エフライムの子はシュテラ、その子はベレデ、その子はタハテ、その子はエラダ、その子はタハテ、
- 1歴7:21 その子はザバデ、その子はシュテラである。エゼルとエレアデはガテの土人らに殺された。これは彼らが行って行ってその家畜を奪おうとしたからである。
- 1歴7:22 父エフライムが日久しくこのために悲しんだので、その兄弟たちが来て彼を慰めた。
- 1歴7:23 そののち、エフライムは妻のところにはいった。妻ははらんで男の子を産み、その名をベリアと名づけた。その家に災があつたからである。
- 1歴7:24 エフライムの娘セラは上と下のベテホロンおよびウゼン・セラを建てた。
- 1歴7:25 ベリアの子はレバ、その子はレセフ、その子はテラ、その子はタハン、
- 1歴7:26 その子はラダン、その子はアミホデ、その子はエリシャマ、
- 1歴7:27 その子はヌン、その子はヨシュア。
- 1歴7:28 エフライムの子孫の領地と住所はベテルとその村々、また東の方ではナアラン、西の方ではゲゼルとその村々、またシケムとその村々。アワとその村々。
- 1歴7:29 またマナセの子孫の国境に沿って、ベテシャンとその村々、タアナクとその村々、メギドンとその村々、ドルとその村々で、イスラエルの子ヨセフの子孫はこれらの所に住んだ。
- 1歴7:30 アセルの子らはイムナ、イシワ、エスイ、ベリアおよびその姉妹セラ。
- 1歴7:31 ベリアの子らはヘベルとマルキエル。マルキエルはビルザヒテの父である。
- 1歴7:32 ヘベルはヤフレテ、ショメル、ホタムおよびその姉妹シュアを生んだ。
- 1歴7:33 ヤフレテの子らはベサク、ビムハル、アシワテ。これらはヤフレテの子らである。
- 1歴7:34 彼の兄弟ショメルの子らはロガ、ホバおよびアラム。
- 1歴7:35 ショメルの兄弟ヘレムの子らはゾバ、イムナ、シレシ、アマル。
- 1歴7:36 ゾバの子らはスア、ハルネペル、シュアル、ベリ、イムラ、
- 1歴7:37 ベゼル、ホド、シヨンマ、シルシャ、イテラン、ベエラ。
- 1歴7:38 エテルの子らはエフンネ、ピスパおよびアラ。
- 1歴7:39 ウラの子らはアラ、ハニエル、およびリヂア。
- 1歴7:40 これらは皆アセルの子孫であつて、その氏族の長、えりぬきの大勇士、つかさたちのかしらであつた。その系図によって数えられた者で、いくさに出てよく戦う者の数は2万6千人であつた。
- 1歴\*\*\*:
- 1歴\*\*\*:
- 1歴\*\*\*:
- 1歴\*\*\*:
- 1歴\*\*\*:
- 1歴8: 歴代志上 第8章
- 1歴8:1 ベニヤミンの生んだ者は長子はバラ、その次はアシベル、第3はアハラ、

1歴8:2 第4はノハ、第5はラパ。  
1歴8:3 ベラの子らはアダル、ゲラ、アビウデ、  
1歴8:4 アビシュア、ナアマン、アホア、  
1歴8:5 ゲラ、シフバム、ヒラム。  
1歴8:6 エホデの子らは次のとおりである。(これらはゲバの住民の氏族の長であって、マナハテに捕え移されたものである。)  
1歴8:7 すなわちナアマン、アヒヤ、ゲラすなわちゲフラム。ゲラはウザとアヒフデの父であった。  
1歴8:8 シャハラタイムは妻ホシムとバアラを離別してのち、モアブの国で子らをもうけた。  
1歴8:9 彼が妻ホデシによってもうけた子らはヨバブ、ヂビア、メシャ、マルカム、  
1歴8:10 エウヅ、シャキヤ、ミルマ。これらはその子らであって氏族の長である。  
1歴8:11 彼はまたホシムによってアビトブとエルバアルをもうけた。  
1歴8:12 エルバアルの子らはエベル、ミシャムおよびセメド。彼はオノとロドとその村々を建てた者である。  
1歴8:13 またベリアとシマがあった。(これらはアヤロンの住民の氏族の長であって、ガテの住民を追い払ったものである。)  
1歴8:14 またアヒオ、シャシャク、エレモテ。  
1歴8:15 ゼバデヤ、アラデ、アデル、  
1歴8:16 ミカエル、イシパおよびヨハはベリアの子らであった。  
1歴8:17 ゼバデヤ、マシュラム、ヘゼキ、ヘベル、  
1歴8:18 イシメライ、エズリアおよびヨバブはエルバアルの子であった。  
1歴8:19 ヤキン、ジクリ、ザベデ、  
1歴8:20 エリエナイ、チルタイ、エリエル、  
1歴8:21 アダヤ、ベラヤおよびシムラテはシマの子らであった。  
1歴8:22 イシバン、ヘベル、エリエル、  
1歴8:23 アブドン、ジクリ、ハナン、  
1歴8:24 ハナニヤ、エラム、アントテヤ、  
1歴8:25 イペデヤおよびペヌエルはシャシャクの子らであった。  
1歴8:26 シヤムセラヤ、シハリア、アタリヤ、  
1歴8:27 ヤレシャ、エリヤおよびジクリはエロハムの子らであった。  
1歴8:28 これらは歴代の氏族の長であり、またかしらであって、エルサレムに住んだ。  
1歴8:29 ギベオンの父エイエルはギベオンに住み、その妻の名はマアカと叫んだ。  
1歴8:30 その長子はアブドンで、次はツルキン、バアル、ナダブ、  
1歴8:31 ゲドル、アヒオ、ザケル、  
1歴8:32 およびマイクロテ。マイクロテはシメアを生んだ。これらもまた兄弟たちと向かいあってエルサレムに住んだ。  
1歴8:33 ネルはキシを生み、キシはサウルを生み、サウルはヨナタン、マルキシユア、アビナダブ、エシバアルを生んだ。  
1歴8:34 ヨナタンの子はメリバアルで、メリバアルはミカを生んだ。  
1歴8:35 ミカの子らはピトン、メレク、タレア、アハズである。  
1歴8:36 アハズはエホアダを生み、ジムリはモザを生み、  
1歴8:37 モザはビネアを生んだ。ビネアの子はラバ、ラバの子はエレアサ、エレアサの子はアゼルである。  
1歴8:38 アゼルには6人の子があり、その名はアズエイカムボケル、イシマエル、シャリヤ、オバデヤ、ハナンで、皆アゼルの子である。  
1歴8:39 その兄弟エセクの子らは、長子はウラム、次はエウシ、第3はエリバレテである。  
1歴8:40 ウラムの子らは大勇士で、よく弓を射る者であった。彼は多くの子と孫をもち、150人もあった。これらは皆ベニヤミンの子孫である。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴9: 歴代志上 第9章  
1歴9:1 このようにすべてのイスラエルびとは系図によって数えられた。これらはイスラエルの列王記にしるされて

いる。ユダはその不信のゆえにバビロンに捕囚となった。

1歴9:2 その領地の町々に最初に住んだものはイスラエルびと、祭司、レビびとおよび宮に仕えるしもべたちであった。

1歴9:3 またエルサレムにはユダの子孫、ベニヤミンの子孫およびエフライムとマナセの子孫が住んでいた。

1歴9:4 すなわちユダの子ペレヅの子孫のうちではアミホデの子ウタイ。アミホデはオムリの子、オムリはイムリの子、イムリはパニの子である。

1歴9:5 シロびとのうちでは長子アサヤとそのほかの子たち、

1歴9:6 ゼラの子孫のうちではユエルとその兄弟6百9十人。

1歴9:7 ベニヤミンの子孫のうちではハセヌアの子ホダビヤの子であるメシュラムの子サル、

1歴9:8 エロハムの子イブニヤ、ミクリの子であるウジの子エラおよびイブニヤの子リウエルの子であるシパテヤの子メシュラム、

1歴9:9 ならびに彼らの兄弟たちで、その系図によれば合わせて9百5十6人。これらの人々は皆その氏族の長であった。

1歴9:10 祭司のうちではエダヤ、ヨアリブ、ヤキン、

1歴9:11 およびヒルキヤの子アザリヤ、ヒルキヤはメシュラムの子、メシュラムはザドクの子、ザドクはメラヨテの子、メラヨテはアヒブの子である。アザリヤは神の宮のつかさである。

1歴9:12 またエロハムの子アダヤ、エロハムはパシュルの子、パシュルはマルキヤの子である。またアデエルの子はマアセヤ、アデエルはヤゼラの子、ヤゼラはメシュラムの子、メシュラムはメシレモテの子、メシレモテはインメルの子である。

1歴9:13 そのほかに彼らの兄弟たちもあつた、これらはその氏族の長で、合わせて1千7百6十人、みな神の宮の務をするのに、はなはだ力のある人々であつた。

1歴9:14 レビびとのうちではハシュブの子シマヤ、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシュビヤの子で、これらはメラリの子孫である。

1歴9:15 またバクバッカル、ヘレシ、ガラル、およびアサフの子ジクリの子であるミカの子マッタニヤ、

1歴9:16 ならびにエドトンの子ガラルの子であるシマヤの子オバデアおよびエルカナの子であるアサの子ベレキヤ、エルカナはネトバビとの村里に住んだ者である。

1歴9:17 門を守るものはシャルム、アックブ、タルモン、アヒマンおよびその兄弟たちで、シャルムはその長であつた。

1歴9:18 彼は今日まで東の方にある王の門を守っている。これらはレビの子孫で営の門を守る者である。

1歴9:19 コラの子エビヤサフの子であるコレの子シャルムおよびその氏族の兄弟たちなどのコラびとは幕屋のもろもろの門を守る務をつかさどつた。その先祖たちは主の営をつかさどり、その入口を守る者であつた。

1歴9:20 エレアザルの子ビネハスが、むかし彼らのつかさであつた。主は彼とともにおられた。

1歴9:21 メシレミヤの子ゼカリヤは会見の幕屋の門を守る者であつた。

1歴9:22 これらは皆選ばれて門を守る者で、合わせて212人であつた。彼らはその村々で系図によって数えられた者で、ダビデと先見者サムエルが彼らを職に任じたのである。

1歴9:23 こうして彼らとその子孫は監守人として、主の家である幕屋の家の門をつかさどつた。

1歴9:24 門を守る者は東西南北の四方にいた。

1歴9:25 またその村々にいる兄弟たちは7日ごとに代り、来て彼らを助けた。

1歴9:26 門を守る者の長である4人のレビびとは神の家のもろもろの室と宝をつかさどつた。

1歴9:27 彼らは神の家を守る身であるから、そのまわりの宿つた。そして朝ごとにこれを開くことをした。

1歴9:28 そのうちに務の器をつかさどる者があつた。彼らはその数を調べて携え入り、またその数を調べて携え入り、またその数を調べて携え出した。

1歴9:29 またそのほかの品、すべての聖なる器および麦粉、ぶどう酒、油、乳香、香料をつかさどる者があつた。

1歴9:30 また祭司のともがらのうちに香料を混ぜる者があつた。

1歴9:31 コラびとシャルムの長子でレビびとノヒトリデアルマタテヤはせんべいを造る勤めをつかさどつた。

1歴9:32 またコハテびとの子孫であるその兄弟たちのうちに供えのパンをつかさどつて、安息日ごとにこれを整える者どもがあつた。

1歴9:33 レビびとの氏族の長であるこれらの者は歌うたう者であつて、宮のもろもろの室に住み、ほかの務はしなかつた。彼らは日夜自分の務に従つたからである。

1歴9:34 これらはレビとの歴代の氏族の長であつて、かしらたる人々であつた。彼らはエルサレムに住んだ。

1歴9:35 ギベオンの父エヒエルはギベオンに住んでいた。その妻の名はマアカといつた。

1歴9:36 彼の長子はアブドン、次はツル、キシ、バアル、ネル、ナダブ、  
1歴9:37 ゲドル、アヒオ、ゼカリヤ、マイクロテである。  
1歴9:38 ミクロテはシメアムを生んだ。彼らもその兄弟たちとともにエルサレムに住んで、その兄弟たちと向かいあっていた。  
1歴9:39 ネルはキシを生み、キシはサウルを生み、サウルはヨナタン、マルキシユア、アピナダブ、エシバアルを生んだ。  
1歴9:40 ヨナタンの子はメリバアルで、メリバアルはミカを生んだ。  
1歴9:41 ミカの子らはビトン、メレク、タレアおよびアハズである。  
1歴9:42 アハズはヤラを生み、ヤラはアレメテ、アズマウテおよびジムリを生み、ジブリはモザを生み、  
1歴9:43 モザはビネアを生んだ。ビネアの子はレバヤ、その子はエレアサ、その子はアゼルである。  
1歴9:44 アゼルに6人の男の子があった。その名はアズリカム、ボケル、イシマエル、シャリヤ、オバデヤ、ハナン。これらはみなアゼルの子らであった。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴10: 歴代志上 第10章  
1歴10:1 さてペリシテびとはイスラエルと戦ったが、イスラエルの人々がペリシテびとの前から逃げ、ギルボア山で殺されて倒れたので、  
1歴10:2 ペリシテびとはサウルとその子たちのあとを追い、サウルの子ヨナタン、アピナダブおよびマルキシユアを殺した。  
1歴10:3 戦いは激しくサウルにおし迫り、射手の者どもがついにサウルを見つけたので、彼は射手の者どもに傷を負わされた。  
1歴10:4 そこでサウルはその武器を執る者に言った、“つるぎを抜き、それをもってわたしを刺せ。さもないと、これらの割礼なき者が来て、わたしをはずかしめるであろう”。しかしその武器を執る者がいたく恐れて聞き入れなかったので、サウルはつるぎをとってその上に伏した。  
1歴10:5 武器を執る者はサウルの死んだのを見て、自分もまたつるぎの上に伏して死んだ。  
1歴10:6 こうしてサウルは3人の子らおよびその家族は皆ともに死んだ。  
1歴10:7 谷にいたイスラエルの人々は皆彼らの逃げるのを見、またサウルとその子らの死んだのを見て、町々をすてて逃げたので、ペリシテびとが来てそのうちに住んだ。  
1歴10:8 ある日ペリシテびとは殺された者から、はぎ取るために来て、サウルとその子らのギルボア山に倒れているのを見、  
1歴10:9 サウルをはいでその首と、よろいかぶとを取り、ペリシテびとの国の四方に人をつかわして、この良き知らせをその偶像と民に告げさせえた。  
1歴10:10 そしてサウルのよろいかぶとを彼らの神の家に置き、首をダゴンの神殿にくぎづけにした。  
1歴10:11 しかしヤベシ・ギレアデの人々は皆ペリシテびとがサウルにしたことを聞いたので、  
1歴10:12 勇士たちが皆立ち上がり、サウルのからだとその子らのからだをとって、これをヤベシに持って来て、ヤベシのかしの木の下にその骨を葬り、7日の間、断食した。  
1歴10:13 こうしてサウルは主にむかって犯した罪のために死んだ。すなわち彼は主の言葉を守らず、また口寄せに問うことをして、  
1歴10:14 主に問うことをしなかった。それで主は彼を殺し、その国を移してエッサイの子ダビデに与えられた。  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴\*\*\*:  
1歴11: 歴代志上 第11章  
1歴11:1 ここにイスラエルの人々は皆ヘブロンにいるダビデのもとに集まって来て言った、“われわれは、あなたの骨肉です”。  
1歴11:2 先にサウルが王であった時にも、あなたはイスラエルを率いて出入りされました。そしてあなたの神、主

はあなたに‘あなたはわが民イスラエルを牧する者となり、わが民イスラエルの君となるであろう’と言われました”。

1歴11:3 このようにイスラエルの長老が皆ヘブロンにいる王のもとに来たので、ダビデはヘブロンで主お前に彼らと契約を結んだ。そして彼らは、サムエルによって語られた主の言葉に従ってダビデに油を注ぎ、イスラエルの王とした。

1歴11:4 ダビデとすべてのイスラエルはエルサレムへ行った。エルサレムはすなわちエブスであって、そこにはその地の住民であるエブスびとがいた。

1歴11:5 エブスの住民はダビデに言った、“あなたはここにはいつてはならない”。しかし、ダビデはシオンの要害を取った。これがすなわちダビデの町である。

1歴11:6 この時ダビデは言った、“だれでも第1にエブスびとを撃つ者を、かしらとし、将とする”。ゼルヤの子ヨアブが第1にのぼっていったので、かしらとなった。

1歴11:7 そしてダビデがその要害に住んだので人々はこれをダビデの町と名づけた。

1歴11:8 ダビデはまたその町の周囲すなわちミロから四方に石がきを築き、ヨアブは町のほかの部分を繕った。

1歴11:9 こうしてダビデはますます大いなる者となった。万軍の主が彼とともにおられたからである。

1歴11:10 ダビデの勇士のおもなものは次のとおりである。彼らはイスラエルの総ての人とともにダビデに力をそえて国を得させ、主がイスラエルについて言われた言葉にしたがって、彼を王とした人々である。

1歴11:11 ダビデの勇士の数は次のとおりである。すなわち3人の長であるハクモニびとの子ヤショベアム、彼はやりをふるって300人に向かい、1度にこれを殺した者である。

1歴11:12 彼の次はアホアびとドドの子エレアザルで、3勇士のひとりである。

1歴11:13 彼はダビデとともにパスタダミムにいたが、ペリシテびとがそこに集まって来て戦った。そこに1面に大麦のはえた地所があった。民はペリシテびとの前から逃げた。

1歴11:14 しかし彼は地所の中に立ってこれを防ぎ、ペリシテびとを殺した。そして主は大いなる勝利を与えて彼らを救われた。

1歴11:15 30人の長たちのうちの3人は下って行ってアドラムのほらあなの岩の所にいるダビデのもとへ行った。時にペリシテびとの軍勢はレパイムの谷の陣を取っていた。

1歴11:16 その時ダビデは要害におり、ペリシテびとの先陣はベツレヘムにあったが、

1歴11:17 ダビデはせつに望んで、“ダレカベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をわたしに飲ませてくれるとよいのだが”と言った。

1歴11:18 そこでその3人はペリシテびとの陣を突き通って、ベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をくみ取って、ダビデのもとに携えて来た。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、それを主の前に注いで、

1歴11:19 言った、“わが神よ、わたしは断じてこれをいたしません。命をかけて言ったこの人たちの血をどうしてわたしは飲むことができましょう。彼らは命をかけてこの水をとって来たのです”。それゆえ、ダビデはこの水を飲もうとはしなかった。3勇士はこのことをおこなった。

1歴11:20 ヨアブの兄弟アビシャイは30人の長であった。彼はやりをふるって300人に立ち向かい、これを殺して3人のほかに名を得た。

1歴11:21 彼は30人のうち、最も尊ばれた者で、彼らのかしらとなった。しかし、かの3人には及ばなかった。

1歴11:22 エホヤダの子ベナヤは、カブジエルの出身の勇士であって、多くのてがらを立てた。彼はモアブのアリエルのふたりの子を撃ち殺した。彼はまた雪の日に下って行って、穴の中でししを撃ち殺した。

1歴11:23 彼はまた身のたけ5キュビトばかりのエジプトびとを撃ち殺した。そのエジプトびとは手に機の巻棒ほどのやりを持っていたが、ベナヤはつえをとって彼の所へ下って行き、エジプトびとの手から、やりをもぎとり、そのやりをもって彼を殺した。

1歴11:24 エホヤダの子ベナヤは、これらの事を行って3勇士のほかに名を得た。

1歴11:25 彼は30人のうちに有名であったが、かの3人には及ばなかった。ダビデは彼を侍衛の長とした。

1歴11:26 軍団のうちの勇士はヨアブの兄弟アサヘル。ベツレヘム出身のドドの子エルハナン。

1歴11:27 ハロデ出身のシャンマ。ペロンびとヘレヅ。

1歴11:28 テコア出身のイッケシの子イラ。アナトテ出身のアビエザル。

1歴11:29 ホシャテびとシベカイ。アホアびとイライ。

1歴11:30 ネットバ出身のマハライ。ネットバ出身のバアナの子ヘレデ。

1歴11:31 ベニヤミンびとのギベアから出たリバイの子イタイ。ビラトンのベナヤ。

1歴11:32 ガアシの谷のゴライ。アルバテびとアビエル。

1歴11:33 バハルム出身のアズマウテ。シャルボン出身のエリヤバ。

1歴11:34 ギズンびとハセム。ハラルびとショゲの子ヨナタン。

1歴11:35 ハラルびとサカルの子アヒアム。ウルの子エリバル。  
1歴11:36 メケラテびとへペル。ペロンびとアヒヤ。  
1歴11:37 カルメル出身のヘズロ。エズバイの子ナアライ。  
1歴11:38 ナタンの兄弟ヨエル。ハグリの子ミブハル。  
1歴11:39 アンモンびとゼレク。ゼルヤの子ヨアブの武器を執るもの、ベエロテ出身のナハライ。  
1歴11:40 イテルびとイラ。イテルびとガレブ。  
1歴11:41 ヘテびとウリヤ。アハライの子ザバデ。  
1歴11:42 ルベンびとシザの子アデナ。彼はルベンびとの長であつて、30人を率いた。  
1歴11:43 またマアカの子ハナン。ミテニびとヨシャバテ。  
1歴11:44 アシテラテびとウジヤ。アロエルびとホタムの子らシャマとエイエル。  
1歴11:45 テジびとシムリの子エデアエルおよびその兄弟ヨハ。  
1歴11:46 マハブびとエリエル。エルナアムの子らエリバイおよびヨシャビヤ。モアブびとイテマ。  
1歴11:47 エリエル、オベデおよびマゾバびとヤシエルである。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴12: 歴代志上 第12章

1歴12:1 ダビデがキシの子サウルにしりぞけられて、なおチクラグにいた時、次の人々が彼のもとに来た。彼らはダビデを助けて戦った勇士たちのうちにあり、

1歴12:2 弓をよくする者、左右いずれの手をもつてもよく矢を射、石を投げる者で、ともにベニヤミンびとで、サウルの同族である。

1歴12:3 そのかしらはアヒエゼル、次はヨアシで、ともにギベア出身のシマアの子たちである。またエジエルとペレテで、ともにアズマウテの子たちである。またベラカおよびアナトテ出身のエヒウ。

1歴12:4 またギベオン出身のイシマヤ、彼は30人のうちの勇士で、その30人の長である。またエレミヤ、ヤハジエル、ヨハナン、ゲデラ出身のヨザバデ、

1歴12:5 エルザイ、エリモテ、ベアリヤ、シマリヤ、ハリフびとシバテヤ、

1歴12:6 エルカナ、イシア、アザリエル、ヨエザル、ヤショベアムで、これらはコラびとである。

1歴12:7 またゲドルのエロハムの子たちであるヨエラおよびゼベデヤである。

1歴12:8 ガドびとのうちから荒野の要害に来て、ダビデについた者は皆勇士で、よく戦う軍人、よく盾とやりをつかう者、その顔はししの顔のようで、その速いことは山にいるしかのようであった。

1歴12:9 彼らのかしらはエゼル、次のオバデヤ、第3はエリアブ、

1歴12:10 第4はミシマンナ、第5はエレミヤ、

1歴12:11 第6はアツタイ、第7はエリエル、

1歴12:12 第8はヨハナン、第9はエルザバデ、

1歴12:13 第10はえれみや、第11はマクバナイである。

1歴12:14 これらはガドの子孫で軍勢の長たる者、その最も小さい者でも100人に当り、その最も大なる者は1000人に当った。

1歴12:15 正月、ヨルダンがその全岸にあふれたとき、彼らはこれを渡つて、谷々にいる者をことごとく東に西に逃げ走らせた。

1歴12:16 ベニヤミンとユダの子孫のうちの人々が要害に来て、ダビデについた。

1歴12:17 ダビデは出て彼らを迎えて言った、“あなたがたが好意をもって、わたしを助けるために、来たのならば、わたしの心もあなたがたと、ひとつになりましょう。しかし、わたしの手になんの悪事もないのに、もしあなたがたが、わたしを欺いて、敵に渡すためであるならば、われわれ◆

12,17-1,われわれの先祖の神がどうぞみそなわして、あなたがたを責められますように”。

1歴12:18 時に霊が30人の長アマサイに臨み、アマサイは言った、“ダビデよ、われわれはあなたのもの。エッサイの子よ、われわれはあなたと共にある。平安あれ、あなたに平安あれ。あなたを助ける者に平安あれ。あなたの神があなたを助けられる”。そこでダビデは彼らを受け入れて部◆

12,18-1,受け入れて部隊の長とした。

1歴12:19 さきにダビデがペリシテびとと共にサウルと戦おうとせめて来たとき、マナセびと数人がダビデについ

た。(ただあしダビデはついにペリシテびとを助けなかった。それはペリシテびとの君たちが相はかって、“彼はわれわれの首をとって、その主君サウルのもとに帰るであろう”と◆

12,19-1,帰るであろう”と言って、彼を去らせたからである。)

1歴12:20 ダビデがチクラグへ行ったとき、マナセびとアデナ、ヨザバデ、エデアエル、ミカエル、ヨザバデ、エリウ、ヂルタイが彼についた。皆マナセびとの1000人の長であった。

1歴12:21 彼らはダビデを助けて敵軍に当った。彼らは皆大勇士で軍勢の長であった。

1歴12:22 ダビデを助ける者が日に日に加わって、ついに大軍となり、神の軍勢のようになった。

1歴12:23 主の言葉に従い、サウルの国をダビデに与えようとして、ヘブロンにいるダビデのもとにきた武装した軍隊の数は、次のとおりである。

1歴12:24 ユダの子孫で盾とやりをとり、武装した者5800人、

1歴12:25 シメオンの子孫で、よく戦う勇士7100人、

1歴12:26 レビの子孫からは4500人。

1歴12:27 エホヤダはアロンの家のつかさで、彼に属する者は3700人。

1歴12:28 ザドクは年若い勇士で、彼の氏族から出た將軍は22人。

1歴12:29 サウルの同族、ベニヤミンの子孫からは3000人、ベニヤミンびとの多くはなおサウルの家に忠義をつくしていた。

1歴12:30 エフライムの子孫からは20800人、皆勇士で、その氏族の名ある人々であった。

1歴12:31 マナセの半部族からは18000人、皆ダビデを王に立てようとして上って来て、名をつらねた者である。

1歴12:32 イッサカルの子孫からはよく時勢に通じ、イスラエルのなすべきことをわきまえた人々が来た。その長たる者が200人あって、その兄弟たちは皆その指揮に従った。

1歴12:33 ゼブルンからは5万人、皆訓練を経た軍隊で、もろもろの武具で身をよろい、一心にダビデを助けた者である。

1歴12:34 ナフタリからは将たる者1千人および盾をやりをとってこれに従う者37000人。

1歴12:35 ダン日とからは武装した者28600人。

1歴12:36 アセルからは戦いの備えをした熟練の者4万人。

1歴12:37 またヨルダンのかなたルベンびと、ガドびとと、マナセの半部族からはもろもろの武具で身をよろった者12万人であった。

1歴12:38 すべてこれらの戦いの備えをしたいくさびとらは真心をもってヘブロンに来て、ダビデを全イスラエルの王にしようとした。このほかのイスラエルびともまた、心をひとつにしてダビデを王にしようとした。

1歴12:39 彼らはヘブロンにダビデとともに3日いて、食い飲みした。その兄弟たちは彼らのために備えをしたからである。

1歴12:40 また彼らに近い人々はイッサカル、ゼブルン、ナフタリなどの遠い所の者まで、ろば、らくだ、騾馬、牛などに食物を負わせて来た。すなわち麦粉の食物、干いちじく、干ぶどう、ぶどう酒、油、牛、羊などを多く携えて来た。これはイスラエルに喜びがあったからである。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴13: 歴代志上 第13章

1歴13:1 ここにダビデは1000人の長、100人の長などの諸将と相はかり、

1歴13:2 そしてダビデはイスラエルの全会衆に言った、“もしこのことをあなたがたがよしとし、われわれの神、主がこれを許されるならば、われわれは、イスラエルの各地に残っているわれわれの兄弟ならびに、放牧地の付いている町々にいる祭司とレビびとに、使をつかわし、われわれの◆

13,2-1,われわれの所に呼び集めましょう。

1歴13:3 また神の箱をわれわれの所に移しましょう。われわれはサウルの世にはこれをおろそかにしたからです”。

1歴13:4 会衆は一同“そうしましょう”と言った。このことがすべての民の目に正しかったからである。

1歴13:5 そこでダビデはキリアテ・ヤリムから神の箱を運んでくるため、エジプトのシホルからハマテの入口までのイスラエルをことごとく呼び集めた。

1歴13:6 そしてダビデとすべてのイスラエルはバアラすなわちユダのキリアテ・ヤリムに上り、ケルビムの上に座し

ておられる主の名をもって呼ばれている神の箱をそこからかき上ろうと、

1歴13:7 神の箱を新しい車にのせて、アビナダブの家からひきだし、ウザとアヒヨがその車を負した。

1歴13:8 ダビデおよびすべてのイスラエルは歌と琴と豎琴と、手鼓と、シンバルと、ラッパをもって、力をきわめて神の前に踊った。

1歴13:9 彼らがキドンの打ち場に来た時、ウザは手を伸べて箱を押えた。牛がつかまらずいたからである。

1歴13:10 ウザが手を箱につけたことによって、主は彼に向かって怒りを発し、彼を撃たれたので、彼はその所で神の前に死んだ。

1歴13:11 主がウザを撃たれたので、ダビデは怒った。その所は今日までベレヅ・ウザと呼ばれている。

1歴13:12 その日ダビデは神を恐れて言った、“どうして神の箱を、わたしの所へかいて行けようか”。

1歴13:13 それでダビデはその箱を自分の所ダビデの町へは移さず、これを転じてガテびとオベデ・エドムの家に運ばせた。

1歴13:14 神の箱は3か月の間、オベデ・エドムの家に、その家族とともにとどまった。主はオベデ・エドムの家族とそのすべての持ち物を祝福された。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴14: 歴代志上 第14章

1歴14:1 ツロの王ヒラムはダビデに使者をつかわし、彼のために家を建てさせようと香柏および石工と木工を送った。

1歴14:2 ダビデは主が自分を堅く立ててイスラエルの王とされたことと、その民イスラエルのために彼の国を大いに興されたことを悟った。

1歴14:3 ダビデはエルサレムでまた妻たちをめでとった。そしてダビデにまたむすこ、娘を生れた。

1歴14:4 彼がエルサレムで得た子たちの名は次のとおりである。すなわちシャンマ、シヨバブ、ナタン、ソロモン、

1歴14:5 イブハル、エリシュア、エルペレテ、

1歴14:6 ノガ、ネペグ、ヤピア、

1歴14:7 エリシャマ、ベエリアダ、エリベレテである。

1歴14:8 さてペリシテびとはダビデが油を注がれて全イスラエルの王になったことを聞いたので、ペリシテびとはみな上ってきてダビデを捜した。ダビデはこれを聞いてこれに当ろうと出ていったが、

1歴14:9 ペリシテびとはすでに来て、レパイムの谷を侵した。

1歴14:10 ダビデは神に問うて言った、“ペリシテびとに向かって上るべきでしょうか。あなたは彼らをわたしの手にわたされるでしょうか”。主はダビデに言われた、“上りなさい。わたしは彼らをあなたの手にわたそう”。

1歴14:11 そこで彼はバアル・ペラジムへ上っていった。その所でダビデは彼らを打ち取り、そして言った、“神は破り出る水のように、わたしの手で敵を破られた”。それゆえ、その所の名はバアル・ペラジムと呼ばれている。

1歴14:12 彼らが自分たちの神をそこに残して退いたので、ダビデは命じてこれを火で焼かせた。

1歴14:13 ペリシテびとは再び谷を侵した。

1歴14:14 ダビデが再び神に問うたので神は言われた、“あなたは彼らを追って上ってはならない。遠回りしてバルサムの木の前から彼らを遅いなさい。

1歴14:15 バルサムの木の上に行進の音が聞えたならば、あなたは行って戦いなさい。神があなたの前に出てペリシテびとの軍勢を撃たれるからです”。

1歴14:16 ダビデは神が命じられたようにして、ペリシテびとの軍勢を撃ち破り、ギベオンからゲゼルに及んだ。

1歴14:17 そこでダビデの名はすべての国々に聞えわたり、主はすべての国びとに彼を恐れさせられた。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴15: 歴代志上 第15章

1歴15:1 ダビデはダビデの町のうちに自分のために家を建て、また神の箱のために所を備え、これがために幕屋を張った。

1歴15:2 ダビデは言った、“神の箱をかくべき者はただレビびとのみである。主が主の箱をかかせ、また主に長く仕えさせるために彼らを選ばれたからである”。

1歴15:3 ダビデは主の箱をこれがために備えた所にかき上げるため、イスラエルをことごとくエルサレムに集めた。

1歴15:4 ダビデはまたアロンの子孫とレビびとを集めた。

1歴15:5 すなわち、コハテの子孫のうちからはウリエルを長としてその兄弟120人、

1歴15:6 メラリの子孫のうちからはアサヤを長としてその兄弟220人、

1歴15:7 ゲルシヨムの子孫のうちからはヨエルを長としてその兄弟130人、

1歴15:8 エリザパンの子孫のうちからはシマヤを長としてその兄弟200人、

1歴15:9 ヘブロンの子孫のうちからはエリエルを長としてその兄弟80人、

1歴15:10 ウジエルの子孫のうちからはアミナダビを長としてその兄弟120人である。

1歴15:11 ダビデは祭司ザドクとアビヤタル、およびレビびとウリエル、アサヤ、ヨエル、シマヤ、エリエル、アミナダブを召し、

1歴15:12 彼らに言った、“あなたがたはレビびとの氏族の長である。あなたがたとあなたがたの兄弟はともに身を清め、イスラエルの神、主の箱をわたしがそのために備えた所にかき上りなさい。

1歴15:13 さきにこれをかいた者があなたがたでなかったので、われわれの神、主はわれわれを撃たれました。これはわれわれがその定めにしたがってそれを扱わなかったからです”。

1歴15:14 そこで祭司たちとレビびとたちはイスラエルの神、主の箱をかき上げるために身を清め、

1歴15:15 レビびとたちはモーセが主の言葉にしたがって命じたように、神の箱をさおをもって肩にになった。

1歴15:16 ダビデはまたレビびとの長たちに、その兄弟たちを選んで歌うたう者となし、立琴と琴とシンバルなどの楽器を打ちはやし、喜びの声をあげることを命じた。

1歴15:17 そこでレビびとはヨエルの子ヘマンと、その兄弟ベレキヤの子アサフおよびメラリの子孫である彼らの兄弟クシャヤの子エタンを選んだ。

1歴15:18 またこれに次ぐその兄弟たちがこれと共にいた。すなわちゼカリヤ、ヤジエル、セミラモテ、エイエル、ウンニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マッタテヤ、エリペレホ、ミクネヤおよび門を守る者オベデ・エドムとエイエル。

1歴15:19 歌うたう者ヘマン、アサフおよびエタンは青銅のシンバルを打ちはやす者であった。

1歴15:20 ゼカリヤ、アジエル、セミラモテ、エイエル、ウンニ、エリアブ、マアセヤ、ベナヤはアラモテにしたがって立琴を奏する者であった。

1歴15:21 しかしマッタテヤ、エリペレホミクネヤ、オベデ・エドム、エイエル、アザジヤはセミニテにしたがって琴をもって指揮する者であった。

1歴15:22 ケナニヤはレビびとの楽長で、音楽に通じていたので、これを指揮した。

1歴15:23 ベレキヤとエルカナは箱のために門を守る者であった。

1歴15:24 祭司シバニヤ、ヨシャパテ、ネタネル、アマサイ、ゼカリヤ、ベナヤ、エリエゼルらは神の箱の前でラッパを吹き、オベデ・エドムとエヒアは箱のために門を守る者であった。

1歴15:25 ダビデとイスラエルの長老たちおよび1000人の長たちは行って、オベデ・エドムの家から主の契約の箱を喜び胃散でかさ上った。

1歴15:26 神が主の契約の箱をかくレビびとを助けられたので、彼らは雄牛7頭、雄羊7頭をささげた。

1歴15:27 ダビデは亜麻布の衣服を着ていた。箱をかくすべてのレビびと、歌うたう者、音楽をつかさどるケナニヤも同様である。ダビデはまた亜麻布のエボデを着ていた。

1歴15:28 こうしてイスラエルは皆、声をあげ、角笛を吹きならし、ラッパと、シンバルと、立琴と琴をもって打ちはやして主の契約の箱をかき上った。

1歴15:29 主の契約の箱がダビデの町にはいったとき、サウルの娘ミカルが窓からながめ、ダビデの王の舞い踊るのを見て、心のうちに彼をいやしめた。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴16: 歴代志上 第16章

1歴16:1 人々は神の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った幕屋のうちに置き、そして燔祭と酬恩祭を神の前にささげた。

1歴16:2 ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終えたとき、主の名をもって民を祝福し、

1歴16:3 イスラエルの人々に男にも女にもおのおのパン1つ、肉1切れ、干ぶどう1かたまりを分け与えた。  
1歴16:4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。  
1歴16:5 楽長はアサフ、その次はゼカリヤ、エイエル、セミラモテ、エヒエル、マッタテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエルで、彼らは立琴と琴を弾じ、アサフはシンバルを打ち鳴らし、  
1歴16:6 祭司ベナヤとヤハジエルは神の契約の箱の前でつねにラッパを吹いた。  
1歴16:7 その日ダビデは初めてアサフと彼の兄弟たちを立てて、主に感謝をささげさせた。  
1歴16:8 主に感謝し、そのみ名を呼び、そのみわざをもらもろの民の中に知らせよ、  
1歴16:9 主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしみわざを語れ。  
1歴16:10 その聖なるみ名を誇れ。どうか主を求める者の心が喜ぶように。  
1歴16:11 主とそのみ力とを求めよ。つねにそのみ顔をたずねよ。  
1歴16:12 そのしもべアブラハムのすえよ、その選ばれたヤコブの子らよ。主おなされたくすしみわざと、その奇跡と、そのみ口のさばきを心にとめよ。  
1歴16:13  
1歴16:14 彼はわれわれの神、主にいます。そのさばきは全地にある。  
1歴16:15 主はとこしえにその契約をみこころにとめられる。これはよろぶよに命じられたみ言葉であって、  
1歴16:16 アブラハムと結ばれた契約、イサクに誓われた約束である。  
1歴16:17 主はこれを堅く立ててヤコブのために定めとし、イスラエルのためにとこしえの契約として、  
1歴16:18 言われた、“あなたにカナンの地を与えて、あなたがたの受ける嗣業の分け前とする”と。  
1歴16:19 その時、彼らの数は少なく、数えるに足らず、かの国で旅びとなり、  
1歴16:20 国から国へ行き、この国からほかの民へ行つた。  
1歴16:21 主は人の彼らをしえたげるのをゆるされず、彼らのために王たちを懲らしめて、  
1歴16:22 言われた、“わが油そそがれた者たちにさわってはならない。わが預言者たちに害を加えてはならない”と。  
1歴16:23 全地よ、主に向かつて歌え。日ごとにその救を宣べ伝えよ。  
1歴16:24 もろもろの国のなかにその栄光をあらわし、もろもろの民のなかにくすしみわざをあらわせ、  
1歴16:25 主は大いなるかたにいまして、いとほめたたうべき者、もろもろの神にまさって、恐るべき者だからである。  
1歴16:26 もろもろの民のすべての神はむなしい。しかし主は天を造られた。  
1歴16:27 誉れと威厳とはそのみ前にあり、力と喜びとはその聖所にある。  
1歴16:28 もろもろの民のやからよ、主に帰せよ、栄光と力とを主に帰せよ。  
1歴16:29 そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えて主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拝め。  
1歴16:30 全地よ、そのみ前におののけ。世界は堅く立って、動かされることはない。  
1歴16:31 天は喜び、地はたのしみ、もろもろの国民の中に言え、“主は王であられる”と。  
1歴16:32 生みとその中に満つるものとは鳴りどよめき、田畑とその中のすべての者は喜べ。  
1歴16:33 そのとき林のもろもろの木も主のみ前に喜び歌う。主は地をさばくためにこられるからである。  
1歴16:34 主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。  
1歴16:35 また言え、“われわれの救の神よ、われわれを救い、もろもろの国民の中からわれわれを集めてお救いください。そうすればあなたの聖なるみ名に感謝し、あなたの誉を誇るでしょう。  
1歴16:36 イスラエルの神、主は、とこしえまでほむべきかな”と。その時すべての民は“アメン”と言って主をほめたたえた。  
1歴16:37 ダビデはアサフとその兄弟たちを主の契約の箱の前にとめおいて、常に箱の前に仕え、日々のわざを行かせた。  
1歴16:38 オベデ天エドムとその兄弟たちは合わせて68人である。またエドトンの子オベデ天エドムおよびホサは門守であった。  
1歴16:39 祭司ザドクとその兄弟である祭司たちはギベオンにある高き所で主の幕屋の前に仕え。  
1歴16:40 主がイスラエルに命じられた律法にしるされたすべてのことにしたがって燔祭の壇の上に朝夕たえず燔祭を主にささげた。  
1歴16:41 また彼らとともにヘマン、エドトンおよびほかの選ばれて名をしるされた者どもがいて、主のいつくしみの世々限りなきことについて主に感謝した。

1歴16:42 すなわちヘマンおよびエドトンは彼らとともにいて、ラッパ、シンバルおよびその立の聖歌のための楽器をとって音楽を奏し、エドトンの子らは門を守った。

1歴16:43 こうして民は皆おのおの言えに帰り、ダビデはその家族を祝福するために帰って行った。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴17: 歴代志上 第17章

1歴17:1 さてダビデは自分の家に住むようになったとき、預言者ナタン言った、“見よ、わたしは香柏の家に住んでいるが、主の契約の箱は天幕のうちにある”。

1歴17:2 ナタンはダビデに言った、“神があなたとともにおられるから、すべてあなたの心にあるところを行いなさい”。

1歴17:3 その夜、神の言葉がナタンに臨んで言った、

1歴17:4 “行ってわたしのしもべダビデに告げよ、‘主はこう言われる、わたしの住む家を建ててはならない。

1歴17:5 わたしはイスラエルを導き上った日から今日まで、家に住まわず、天幕から天幕に、天幕から天幕に移ったのである。

1歴17:6 わたしがすべてのイスラエルと共に歩んだすべての所で、わたしの民を牧することを命じたイスラエルのさばきづかさのひとりに、ひと言でも、“どうしてあなたがたは、わたしのために香柏の家を建てないのか”と言ったことがあるだろうか”と。

1歴17:7 それゆえ今あなたは、わたしのしもべダビデにこう言いなさい、‘万軍の主はこう仰せられる、“わたしはあなたを牧場から、羊に従っている所から取って、わたしの民イスラエルの君とし、

1歴17:8 あなたがどこへ行くにもあなたと共におり、あなたのすべての敵をあなたの前から断ち去った。わたしはまた地の上の大いなる者の名のような名をあなたに得させよう。

1歴17:9 そしてわたしはわが民イスラエルのために1つの所を定めて、彼らを植えつけ、彼らを自分の所に住ませ、重ねて動くことのないようにしよう。

1歴17:10 また前のように、すなわちわたしがわが民イスラエルの上にさばきづかさを立てた時からこのかたのように、悪い人が重ねてこれを荒すことはないであろう。わたしはまたあなたのもろもろの敵を征服する。かつわたしは主があなたのために家を建てられることを告げる。

1歴17:11 あなたの日が満ち、あなたの先祖たちの所へ行かねばならぬとき、わたしはあなたの子、すなわちあなたの子らのひとりを、あなたのあとに立てて、その王国を堅くする。

1歴17:12 彼はわたしのために家を建ててであろう。わたしは長く彼の位を堅くする。

1歴17:13 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。わたしは、わたしのいつくしみを、あなたのさきにあつた者から取り去ったように、彼からは取り去らない。

1歴17:14 かえって、わたしは彼を長くわたしの家に、わたしの王国にすえおく、彼の位はとこしえに堅く立つであろう”。

1歴17:15 ナタンはすべてこれらの言葉のように、またすべてこの幻のようにダビデに語った。

1歴17:16 そこで、ダビデ王は、はいって主の前に座して言った、“主なる神よ、わたしがだれ、わたしの家がなんであるので、あなたはこれまでわたしを導かれたのですか。

1歴17:17 神よ、これはあなたの目には小さな事です。主なる神よ、あなたはしもべの家について、はるか後の事を語って、きたるべき代々のことを示されました。

1歴17:18 しもべの名誉については、ダビデはこの植えあなたに何を申しあげることができましよう。あなたはしもべを知っておられるからです。

1歴17:19 主よ、あなたはしもべのためにまたあなたの心にしがたって、このもろもろの大いなる事をなし、すべての大いなる事を知らされました。

1歴17:20 主よ、われわれがすべて耳に聞いた所によれば、あなたのようなものはなく、またあなたのほかに神はありません。

1歴17:21 また地上のどの国民が、あなたの民イスラエルのものでありましようか。これは神が行って、自分のためにあがなって民とし、エジプトからあなたがあがない出されたあなたの民の前から国々の民を追い払い、大いなる恐るべき事を行って、名を得られたものではありませんか。

1歴17:22 あなたはあなたの民イスラエルを長くあなたの民とされました。主よ、あなたは彼らの神となられたのです。

1歴17:23 それゆえ主よ、あなたがしもべと、しもべの家について語られた言葉を長く堅くして、あなたの言われたとおりにしてください。

1歴17:24 そうすればあなたの名はとこしえに堅くされ、あがめられて、'イスラエルの神、万国の主はイスラエルの神である'と言われ、またあなたのしもべダビデの家はあなたの前に堅く立つことができるでしょう。

1歴17:25 わが神よ、あなたは彼のために家を建てると、しもべに示されました。それゆえ、しもべはあなたの前に祈る勇気を得ました。

1歴17:26 主よ、あなたは神にいまし、この良き事をしもべに約束されました。

1歴17:27 それゆえどうぞいま、しもべの家を祝福し、あなたの前に長く続けさせてくださるよう、主よ、あなたの祝福されるものは長く祝福を受けるからです”。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴18: 歴代志上 第18章

1歴18:1 この後ダビデはペリシテびとを撃ってこれを征服し、ペリシテびとの手からガテとその村々を取った。

1歴18:2 彼はまたモアブを撃った。モアブびとはダビデのしもべとなって、みつぎを納めた

1歴18:3 ダビデはまた、ハマテのゾバの王ハダデゼルがユフラテ川のほとりに、その記念碑を建てようとして行ったとき彼を撃った。

1歴18:4 そしてダビデは彼から戦車1000、騎兵7000人、歩兵20000人を取った。ダビデは1百の戦車の馬を残して、そのほかの戦車の馬はみなその足の筋を切った。

1歴18:5 その時ダマスコのスリヤびとがゾバの王ハダデゼルを助けるために来たので、ダビデはそのスリヤびと22000人を殺した。

1歴18:6 そしてダビデはダマスコのスリヤに守備隊を置いた。スリヤびとはみつぎを納めてダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

1歴18:7 ダビデはハダデゼルのしもべらが持っていた金の盾を奪って、エルサレムに持ってきた。

1歴18:8 またハダデゼルの町テブハテとクンからダビデは非常に多くの青銅を取った。ソロモンはそれを用いて青銅の海、柱および青銅の器を造った。

1歴18:9 時にハマテの王トイはダビデがゾバの王ハダデゼルのすべての軍勢を撃ち破ったことを聞き、

1歴18:10 その子ハドラムをダビデ王につかわして、彼にあいさつさせ、かつ祝を延べさせた。ハダデゼルはかつてしばしばトイと戦いを交えたが、ダビデはハダデゼルと戦って、これを撃ち破ったからである。ハドラムは金、銀および青銅のさまざまな器を贈ったので、

1歴18:11 ダビデ王はこれをエドム、モアブ、アンモンの人々、ペリシテびと、アマレクなどの諸国民のうちから取ってきた金銀とともに、主にささげた。

1歴18:12 ゼルヤの子アビシャイは塩の谷で、エドムびと18000人を撃ち殺した。

1歴18:13 ダビデはエドムに守備隊を置き、エドムびとは皆ダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

1歴18:14 こうしてダビデはイスラエルの全地を治め、そのすべての民に公道と正道を行った。

1歴18:15 ゼルヤの子ヨアブは軍の長、アヒルデの子ヨシャバテは史官、

1歴18:16 アヒブの子ザドクとアビヤタルの子アビメレクは祭司、シャウシャは書記官、

1歴18:17 エホヤダの子ベナヤはケナヤはクレテびとベレテびとの長、ダビデの子たちは王のかたわらにはべる大臣であった。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴19: 歴代志上 第19章

1歴19:1 この後アンモンの人々の王ナハシが死んで、その子がこれに代って王となった。

1歴19:2 そのときダビデは言った、“わたしはナハシの子ハヌンに、彼の父がわたしに恵みを施したように、恵みを施そう”。そしてダビデは彼をその父のゆえに慰めようとして使者をつかわした。ダビデのしもべたちはハヌンを慰

めるためアンモンの人々の地に来たが、

1歴19:3 アンモンの人々のつかさたちはハヌンに言った、“ダビデが慰める者をあなたのもとにつかわしたことによって、あなたは彼があなたの父を尊ぶのだと思われませんか。彼のしもべたちが来たのは、この国をうかがい、探つて滅ぼすためではありませんか”。

1歴19:4 そこでハヌンはダビデのしもべたちを捕えて、そのひげをそり落とし、その着物を巾ほどから断ち切って腰の所までにして彼らを帰してやった。

1歴19:5 ある人々が来て、この人たちのされたことをダビデに告げたので、彼は人をつかわして、彼らを迎えさせた。その人々が非常に恥じたからである。そこで王は言った、“ひげがのびるまでエリコにとどまって、その後帰りなさい”。

1歴19:6 アンモンの人々は自分たちがダビデに憎まれることをしたとわかったので、ハヌンおよびアンモンの人々は銀1000タラントを贈ってメソポタミヤとアラム・マアカ、およびゾバから戦車と騎兵を雇い入れた。

1歴19:7 すなわち戦車32000およびマアカの王とその軍隊を雇い入れたので、彼らは来てメデバの前に陣を張った。そこでアンモンの人々は町々から寄り集まって、戦いに出動した。

1歴19:8 ダビデはこれを聞いてヨアブと勇士の全軍をつかわしたので、

1歴19:9 アンモンの人々は出て来て町の入口に戦いの備えをした。また助けに来た王たちは別に野にいた。

1歴19:10 時にヨアブは戦いが前後から自分に向かってのを見て、イスラエルのえり抜きの兵士のうちから選んで、これをスリヤびとに対して備え、

1歴19:11 そのほかの民を自分の兄弟アビシャイの手にわたして、アンモンの人々に対して備えさせ、

1歴19:12 そして言った、“もしスリヤびとがわたしに手ごわいときは、わたしを助けてください。もしアンモンの人々があなたに手ごわいときは、あなたを助けましょう。

1歴19:13 勇ましくしてください。われわれの民のためと、われわれの神の町々のために、勇ましくしましょう。どうか、主が良いと思われることをされるように”。

1歴19:14 こうしてヨアブが自分と一緒にいる民と共にスリヤびとに向かって戦おうとして近づいたとき、スリヤびとは彼の前から逃げた。

1歴19:15 アンモンの人々はスリヤびとの逃げるのを見て、彼らもまたヨアブの兄弟アビシャイの前から逃げて町にはいった。そこでヨアブはエルサレムに帰った。

1歴19:16 しかしスリヤびとは自分たちがイスラエルの前に打ち敗られたのを見て、使者をつかわし、ハダデゼルの軍長ショバクの率いるユフラテ川の向こう側にいるスリヤびとを引き出した。

1歴19:17 この事がダビデに聞えたので、彼はイスラエルをことごとく集め、ヨルダンを渡り、彼らの所に来て、これに向かって戦いの備えをした。ダビデがこのようにスリヤびとに対して戦いの備えをしたとき、彼らはダビデと戦った。

1歴19:18 しかしスリヤびとがイスラエルの前から逃げたので、ダビデはスリヤびとの戦車の塙7000人、歩兵40000を殺し、また軍の長ショバクをも殺した。

1歴19:19 ハダデゼルのしもべたちは見方の者がイスラエルに打ち敗られたのを見て、ダビデと和を講じ、彼に仕えた。スリヤびとは再びアンモンびとを助けることをしなかった。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴20: 歴代志上 第20章

1歴20:1 春になって、王たちが戦いに出るに及んで、ヨアブは軍勢を率いてアンモンびとの地を荒し、行ってラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまった。ヨアブはラバを撃つて、これを滅ぼした。

1歴20:2 そしてダビデは彼らの王の冠をその頭から取りはなした。その金の重さを測ってみると1タラント、またその中に宝石があった。これをダビデの頭に置いた。ダビデはまたその町のぶんどり者を非常に多く持ち出した。

1歴20:3 また彼はそのうちの民を引き出して、これをのこぎり、鉄のつるはし、おのを使う仕事につかせた。ダビデはアンモンびとのすべての町々にこのように行った。そしてダビデと民とは皆エルサレムに帰った。

1歴20:4 この後ゲゼルでペリシテびとと戦いが起った。その時ホシャびとシベカイが巨人の子孫のひとりシパイを殺した。かれらはついに征服された。

1歴20:5 ここにまたペリシテびとと戦いがあつたが、ヤイルの子エルハナンがガテびとゴリアテの兄弟ラミを殺した。そのやりの柄は機の巻棒のようであつた。

1歴20:6 またガテの戦いがあつたが、そこにひとりの背の高い人がいた。その手の指と足の指は6本ずつで、合

わせて24本あった。彼もまた巨人から生れた者であった。

1歴20:7 彼はイスラエルをののしったので、ダビデの兄弟シメアの子ヨナタンがこれを殺した。

1歴20:8 これらはガテで巨人から生れた者であったが、ダビデの手とその家来たちの手に倒れた。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴21: 歴代志上 第21章

1歴21:1 時にサタンが起ってイスラエルに敵し、ダビデを動かしてイスラエルを数えさせようとした。

1歴21:2 ダビデはヨアブと軍の症候たちに言った、“あなたがたは行って、ベエルシバからダンまでのイスラエルを数え、その数を調べてわたしに知らせなさい”。

1歴21:3 ヨアブは言った、“それがどのくらいあっても、どうか主がその民を百倍に増されるように。しかし王わが主よ、彼らは皆あなたのしもべではありませんか。どうしてわが主はこの事を求められるのですか。どうしてイスラエルに罪を得させられるのですか”。

1歴21:4 しかし王の言葉がヨアブに勝ったので、ヨアブは出て行って、イスラエルをあまねく行き巡り、えるされむに帰って来た。

1歴21:5 そしてヨアブは民の総数をダビデに告げた。すなわちイスラエルにはつるぎを抜く者が110万人、ユダはつるぎを抜く者が47万人であった。

1歴21:6 しかしヨアブは王の命令を快しとしなかったので、レビとベニヤミンとはその中に数えなかった。

1歴21:7 この事が神の目に悪かったので、神はイスラエルを撃たれた。

1歴21:8 そこでダビデは神に言った、“わたしはこの事を行って大いに罪を犯しました。しかし今どうか、しもべの罪を除いてください。わたしは非常に愚かなことをいたしました”。

1歴21:9 主はダビデの先見者ガデに告げて言われた、

1歴21:10 “行ってダビデに言いなさい、‘主はこう仰せられる、わたしは3つの事を示す。あなたはその1つを選びなさい。わたしはそれをあなたに行おう’と”。

1歴21:11 ガデはダビデのもとに来て言った、“主はこう仰せられます、‘あなたは選びなさい’。

1歴21:12 すなわち3年のききんか、あるいは3月の間、あなたのあだの前に敗れて、敵のつるぎに追いつかれるか、あるいは3日の間、主のつるぎすなわち疫病がこの国にあって、主の使がイスラエルの全領域にわたって滅ぼすことをするか’。いま、わたしがどういう答えをわたしをつかわ◆

21,12-1,わたしをつかわしたものにすべきか決めなさい”。

1歴21:13 ダビデはガデに言った、“わたしは非常に悩んでいるが、主のあわれみは大きいゆえ、わたしを主の手に陥らせてください。しかしわたしを人の手に陥らせないでください”。

1歴21:14 そこで主はイスラエルの疫病を下されたので、イスラエルびとのうち7万人が倒れた。

1歴21:15 神はまたみ使をエルサレムにつかわして、これを滅ぼそうとされたが、み使がまさに滅ぼそうとしたとき、主は見られて、この災を悔い、その滅ぼすみ使に言われた、“もうじゅうぶんだ。今あなたの手をとどめよ”。そのとき主の使はエブスびとオルナンの打ち場のかたわらに立つ◆

21,15-1,かたわらに立っていた。

1歴21:16 ダビデが目を見て見ると、主の使が地と天の間に立って、手に抜いたつるぎをもち、エルサレムの上にさし伸べていたので、ダビデと長老たちは荒布を着て、ひれ伏した。

1歴21:17 そしてダビデは神に言った、“民を数えよと命じたのはわたしではありません。罪を犯し、悪い事したのはわたしです。しかしこれらの羊は何をしましたか。わが神、主よ、どうぞあなたの手をわたしと、わたしの父の家にむけてください。しかし災をあなたの民に下さないで◆

21,17-1,下さないでください”。

1歴21:18 時に主の使はガデに命じ、ダビデが上って行って、エブスびとオルナンの打ち場で主のために1つの祭壇を築くように告げさせた。

1歴21:19 そこでダビデはガデが主の名をもって告げた言葉に従って上って行った。

1歴21:20 そのときオルナンは妻を打っていたが、ふりかえってみ使を見たので、ともにいた彼の4人の子は身をかくした。

1歴21:21 ダビデがオルナンに近づくと、オルナンは目を上げてダビデを見、打ち場から出て着て地にひれ伏してダビデを拝した。

1歴21:22 ダビデはオルナンに言った、“この打ち場の所の所をわたしに与えなさい。わたしは災が民に下るのをとどめるため、そこに主のために1つの祭壇を築きます。あなたは、そのじゅうぶんな値をとってこれをわたしに与えなさい”。

1歴21:23 オルナンはダビデに言った、“どうぞこれをお取りください。そして王わが主の良しと見られるところを行いなさい。わたしは牛を燔祭のために、打穀機をたきぎのために、麦を素祭のためにささげます。わたしは皆これをささげます”。

1歴21:24 ダビデ王はオルナンに言った、“いいえ、わたしはじゅうぶんな代価を払ってこれを買います。わたしは主のためにあなたのものを取ることをしません。また、費えなしに燔祭をささげることがをいたしません”。

1歴21:25 それでダビデはその所のために金600シケルをはかって、オルナンに払った。

1歴21:26 こうしてダビデは主のために、その所に1つの祭壇を築き、燔祭と酬恩祭をささげて、主を呼んだ。主は燔祭の祭壇の上に天から火を下して答えられた。

1歴21:27 また主がみ使に命じられたので、彼はつるぎをさやにおさめた。

1歴21:28 その時ダビデは主がエブスびとオルナンの打ち場で自分に答えられたのを見たので、その所で犠牲をささげた。

1歴21:29 モーセが荒野で造った主の幕屋と燔祭の祭壇とは、その時ギベオンの高き所にあつたからである。

1歴21:30 しかしダビデはその前へ行って神に求めることができなかつた。彼が主の使のつるぎを恐れたからである。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴22: 歴代志上 第22章

1歴22:1 それでダビデは言った、“主なる神の家はこれである、イスラエルのための燔祭の祭壇はこれである”と。

1歴22:2 ダビデは命じてイスラエルの地にいる他国人と集めさせ、また神の家を建てるのに用いる石を切るために石工を定めた。

1歴22:3 ダビデはまた門のとびらのくぎ、およびかすがいに用いる鉄をおびたたく備えた。また青銅を量ることもできないほどおびたたく備えた。

1歴22:4 また香柏を数えきれぬほど備えた。これはシドンびととツロの人々がおびたたく香柏をダビデの所に持って来たからである。

1歴22:5 ダビデは言った、“わが子ソロモンは若く、かつ経験がない。また主のために建てる家はきわめて壮大で、万国に名を得、栄えを得るものでなければならない。それゆえ、わたしはその準備をしておこう”と。こうしてダビデは死ぬ前に多くの物質を準備した。

1歴22:6 そして彼はその子ソロモンを召して、イスラエルの神、主のために家を建てることを命じた。

1歴22:7 すなわちダビデはソロモンに言った、“わが子よ、わたしはわが神、主の名のために家を建てようと志していた。

1歴22:8 ところが主の言葉がわたしに臨んで言われた、‘おまえは多くの血を流し、大いなる戦争をした。おまえはわたしの前で多くの血を地に流したから、わが名のために家を建ててはならない。

1歴22:9 見よ、男の子がおまえに生れる。彼は平和の人である。わたしは彼に平安を与えて、周囲のもろもろの敵に煩わされないようにしよう。彼の名はソロモンと呼ばれ、彼の世にわたしはイスラエルに平安と静穏とを与える。

1歴22:10 彼はわが名のために家を建てるであろう。彼はわが子となり、わたしは彼の父となる。わたしは彼の王位をながくイスラエルの上に堅くするであろう’。

1歴22:11 それでわが子よ、どうか主があなたと共にいまし、あなたを栄えさせて、主があなたについて言われたように、あなたの神、主の家を建てさせてくださるように。

1歴22:12 ただ、どうか主があなたに分別と知恵を賜い、あなたをイスラエルの上に立たせられるとき、あなたの神、主の律法を、あなたに守らせてくださるように、

1歴22:13 あなたがもし、主がイスラエルについてモーセに命じられた定めとおきてと慎んで守るならば、あなたは栄えるであろう。心を強くし、勇め、恐れてはならない、おののいてはならない。

1歴22:14 見よ、わたしは苦難のうちにあつて主の家のために金10万タラント、銀100万タラントを備え、また青銅と鉄を量ることもできないほどおびたたく備えた。また材木と石を備えた。あなたはまたこれに加えなければならない。

1歴22:15 あなたにはまた多数の職人、すなわち石や木を切り刻む者、工作に巧みな各種の者がある。

1歴22:16 金、銀、青銅、鉄もおびたしくある。たって行いなさい。どうか種があなたと共におられるように”。

1歴22:17 ダビデはまたイスラエルのすべてのつかさたちにその子ソロモンを助けるように命じて言った、

1歴22:18 “あなたがたの神、主はあなたの神、主はあなたがたとともにおられるではないか、四方に太平を賜ったではないか。主はこの地の民をわたしの手にわたされたので、この地は主の前とその民の前に服している。

1歴22:19 それであなたがたは心をつくし、精神をつくしてあなたがたの神、主を求めなさい。たって主なる神の聖所を建て、主の名のために建てるその家に、主の契約の箱と神の聖なるもろもろの器を携え入れなさい”。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴23: 歴代志上 第23章

1歴23:1 ダビデは古い、その日が満ちたので、その子ソロモンをイスラエルの王とした。

1歴23:2 ダビデはイスラエルのすべてのつかさおよび祭司とレビびとを集めた。

1歴23:3 レビびとの30歳以上のものを数え、その男の数が38000人あった。

1歴23:4 ダビデは言った、“そのうち24000人は主の家の仕事をつかさどり、6000人はつかさびと、およびさばきびととなり、

1歴23:5 4000人は門を守る者となり、また4000人はさんびのためにわたしの造った楽器で主をたたえよ”。

1歴23:6 そしてダビデは彼らをレビの子らにしたがってゲルシオン、コハテ、メラリの国に分けた。

1歴23:7 ゲルシオンの子らはラダンとシメイ。

1歴23:8 ラダンの子らはかしらのエヒエルとゼタムとヨエルの3人。これらはラダンの氏族の長であった。

1歴23:9 シメイの子らはヤハテ、ジナ、エウシ、ベリアの4人。皆シメイの子で、ヤハテはかしら、ジザはその次、エウシとベリアは子が多くなかったので、ともに数えられて1つの氏族となった。

1歴23:10 コハテの子らはアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエルの4人。

1歴23:11 アムラムの子らはアロンとモーセである。アロンはその子らとともに、ながくいと聖なるものを聖別するために分かたれて、主の前に香をたき、主に仕え、常に主の名をもって祝福することをなした。

1歴23:12 神の人モーセの子らはレビの部族のうちに数えられた。

1歴23:13 モーセの子らはゲルシオンとエリゼル。

1歴23:14 ゲルシオンの子らは、かしらはシブエル。

1歴23:15 エリエゼルの子らは、かしらはハビヤ。エリエゼルにはこのほかに子がなかった。しかしレハビヤの子らは非常に多かった。

1歴23:16 イヅハルの子らは、かしらはシロミテ。

1歴23:17 ヘブロンの子らは長子はエリヤ、次はアマリヤ、第3はヤハジエル、第4はエカメアム。

1歴23:18 ウジエルの子らは、かしらはミカ、次はインシアである。

1歴23:19 メラルの子らはマヘリとムシ。マヘリの子らはエレアザルとキシ、

1歴23:20 エレアザルは男の子がなくて死に、ただ娘たちだけであったが、キシの子であるその身内の男たちが彼女たちをめぐらした。

1歴23:21 ムシの子らはマヘリ、エデル、エレモテの3人である。

1歴23:22 これらはその氏族によるレビの子孫であって、その人数が数えられ、その名がしるされて、主の家の務をなした20歳以上の者で、氏族の長であった。

1歴23:23 ダビデは言った、“イスラエルの神、主はその民に平安を与え、ながくエルサレムに住まわれる。

1歴23:24 レビびとは重ねて幕屋およびその務めの器物をかつぐことはない。

1歴23:25 ーーダビデの最後の言葉によって、レビびとは20歳以上の者が数えられたーー

1歴23:26 彼らの務はアロンの子孫を助けて主の家の働きをし、庭とへやの仕事およびすべての聖なるものを清めること、そのほか、すべて神の家の働きをすることである。

1歴23:27 また供えのパン、素祭の麦粉、種入れぬ菓子、焼いた供え物、油をまぜた供え物をつかさどり、またすべて分量および大きさを量ることをつかさどり、

1歴23:28 また朝ごとに立って主に感謝し、さんびし、夕にもまたそのようにし、

1歴23:29 また安息日と新月と祭日に、主にもろもろの燔祭をささげるときは、絶えず主の前にその命じられた数にしたがってささげなければならない。

1歴23:30 このようにして彼らは会見の幕屋と聖所の務を守り、主の家の働きのためにその請い第であるアロンの

子らに仕えなければならない”。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴24: 歴代志上 第24章

1歴24:1 アロンの子孫の組は次のとおりである。すなわちアロンの子らはナダブ、アビウ、エレアザル、イタマル。

1歴24:2 ナダブとアビウはその父に先だつて死に、子がなかったので、エレアザルとイタマルが祭司となった。

1歴24:3 ダビデはエレアザルの子孫ザドクとイタルマの子孫アヒメレクの助けによって彼らを分けて、それぞれの勤めにつけた。

1歴24:4 エレアザルの子孫のうちにはイタマルの子孫のうちよりも長たる人々が多かった。それでエレアザルの子孫で氏族の長である16人と、イタマルの子孫で氏族の長である者8人にこれを分けた。

1歴24:5 このように彼らは皆ひとしく、くじによって分けられた。聖所のつかさ、および神のつかさは、ともにエレアザルの子孫とイスラエルの子孫トイタマルの子孫から出たからである。

1歴24:6 レビびとネタネルの子である書記シマヤは、王とつかさたちと祭司ザドクとアビヤタルの子アヒメレクと祭司およびレビびとの氏族の長たちの前で、これを書きしるした。すなわちエレアザルのために氏族1つを取れば、イタマルのためにも1つを取った。

1歴24:7 第1のくじはヨアリブに当り、第2はエダヤに当り、

1歴24:8 第3はハリムに、第4はセオリムに、

1歴24:9 第5はマルキヤに、第6はミヤミンに、

1歴24:10 第7はハツコツに、第8はアビヤに、

1歴24:11 第9はエシュアに、第10はシカニヤに、

1歴24:12 第11はエリアシブに、第12はヤキムに、

1歴24:13 第13はホツパに、第14はエシバブに、

1歴24:14 第15はビルガに、第16はインメルに、

1歴24:15 第17はヘジルに、第18はハピセツに、

1歴24:16 第19はペタヒヤに、第20はエゼキエルに、

1歴24:17 第21はヤキンに、第22はガムリに、

1歴24:18 第23はデラヤに、第24はマアジヤに当った。

1歴24:19 これは、彼らの先祖アロンによって設けられた定めにしたがい、主の家にはいつて務をなす順序であつて、イスラエルの神、主の彼に命じられたとおりでである。

1歴24:20 このほかのレビの子孫は次のとおりである。すなわちアムラムの子らのうちではシュバエル。シュバエルの子らうちではエデヤ、

1歴24:21 レハビヤについては、レハビヤの子らうちでは長子イシア。

1歴24:22 イヅハリびのうちではシロミテ。シロミテの子らうちではヤハテ。

1歴24:23 ヘブロンの子らは長子はエリヤ、次はアマリヤ、第3はヤハジエル、第4はエカメアム。

1歴24:24 ウジエルの子らうちではミカ。ミカの子らうちではシュミル。

1歴24:25 ミカの兄弟はイシア。イシアの子らうちではゼカリヤ。

1歴24:26 メラリの子らはマヘリとムシ。ヤジアの子らはベノ。

1歴24:27 メラリの子孫のヤジアから出た者はベノ、ショハム、ザツクル、イブリ。

1歴24:28 マヘリからエレアザルが出た。彼には子がなかった。

1歴24:29 キシについては、キシの子はエラメル。

1歴24:30 ムシの子らはマヘリ、エデル、エリモテ。これらはレビびとの子孫で、その氏族によっていった者である。

1歴24:31 これらの者もまた氏族の兄もその弟も同様に、ダビデ王と、ザドクとアヒメレクと、祭司およびレビびとの氏族の長たちの前で、アロンの氏族であるその兄弟たちのようにくじを引いた。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴25: 歴代志上 第25章

1歴24:1 ダビデと軍の長たちはまたアサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分かち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言する者にした。その勤めをなした人々の数は次のとおりである。

1歴24:2 アサフの子たちはザックル、ヨセフ、ネタニヤ、アサレラであって、アサフの指揮のもとに王の命によって預言した者である。

1歴24:3 エドトンについては、エドトンの子たちはゲダリヤ、ザリ、エサヤ、ハシャビヤ、マッタテヤの6人で、琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトンの指揮の下にあった。

1歴24:4 ヘマンについては、ヘマンの子たちはブッキヤ、マツタニヤ、ウジエル、シブエル、エレモテ、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、ギダルテ、ロママテ・エゼル、ヨシベカシャマロテ、ホテル、マハジオテである。

1歴24:5 これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者ヘマンの子たちであった。神はヘマンに男の子14人、女の子3人を与えられた。

1歴24:6 これらの者は皆その父の指揮の下にあつて、主の宮で歌をうたい、シンバルと立琴と琴をもって神の宮の務をした。アサフ、エドトンおよびヘマンは王の命の下にあった。

1歴24:7 彼らおよび主に歌をうたうことのために訓練され、すべて熟練した兄弟たちの数は288人であった。

1歴24:8 彼らは小なる者も、大なる者も、教師も生徒も皆ひとしくその務のためにくじを引いた。

1歴24:9 第1のくじはアサフのためにヨセフに当り、第2はゲダリヤに当った。彼とその兄弟たちおよびその子たち、合わせて12人。

1歴24:10 第3はザックルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:11 第4はイズリに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:12 第5はネタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:13 第6はブッキヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:14 第7はアサレラに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:15 第8はエサヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:16 第9はマツタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:17 第10はシメイに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:18 第11はアザリエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:19 第12はハシャビヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:20 第13はシュバエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:21 第14はマッタテヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:22 第15はエレモテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:23 第16はハナニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:24 第17はヨシベカシャに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:25 第18はハナニに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:26 第19はマロテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:27 第20はエリアタに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:28 第21はホテルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:29 第22はギダルテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:30 第23はマハジオテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人。

1歴24:31 第24はロママテ・エゼルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて12人であった。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴26: 歴代志上 第26章

1歴26:1 門を守る者の組は次のとおりである。すなわちコラビとのうちでは、アサフの子孫のうちのコレの子メシレミヤ。

1歴26:2 メシレミヤの子たちは、長子はゼカリヤ、次はエデアエル、第3はゼバデヤ、第4はヤテニエル、

1歴26:3 第5はエラム、第6はヨハナン、第7はエリヨエナイである。

1歴26:4 オバデ・エドムの子たちは長子はシマヤ、次はヨザバデ、第3はヨア、第4はサカル、第5はネタネル、

1歴26:5 第6はアンミエル、第7はイッサカル、第8はビウレイである。神が彼を祝福されたからである。

1歴26:6 彼の子シマヤにも数人の子が生れ、有能な人々であったので、その父の家を治める者となった。

1歴26:7 すなわちシマヤの子たちはオテニ、レパエル、オベデ、エレザバデで、エルザバデの兄弟エリウとセマキヤは力ある人々であった。

1歴26:8 これらは皆オベデ・エドムの子孫である。彼らはその子たちおよびその兄弟たちと共にその務に敵した力ある人々で、合わせて62人、みなオベデ・エドムに属する者である。

1歴26:9 メシレミヤにも子たちと兄弟たち合わせて18人あって、皆力ある人々であった。

1歴26:10 メラリの子孫ホサにも子たちがあった。そのかしらはシムリ、これは長子ではなかったが、父はこれをかしらにしたのであった。

1歴26:11 次はヒルキヤ、第3はテバリヤ、第4はゼカリヤである。ホサの子たちと兄弟たちは合わせて13人である。

1歴26:12 これらは門を守る者の組の長たる人々であって、その兄弟たちと同様に務をなして、主お宮に仕えた。

1歴26:13 彼らはそれぞれ門のために小なる者も、第なる者も等しく、その氏族にしたがってくじを引いた。

1歴26:14 東の門のくじはシレミヤに当たった。また彼の子で思慮深い議士ゼカリヤのためにくじを引いたが、北の門のくじがこれに当たった。

1歴26:15 オベデ・エドムには南の門のくじ、その子たちには倉のくじ、

1歴26:16 シュパムとホサには西の門のくじが当たった。これは坂の大路にあるシャレケテの門のかたわらにあった。守る者と守る者が相対していた。

1歴26:17 東の方には毎日6人、北の法には毎日4人、南の方には毎日4人、倉には2人と2人、

1歴26:18 西の方パルバルには大路に4人、パルバルに2人。

1歴26:19 門を守る者の組は以上のとおりで、コラの子孫とメラリの子孫であった。

1歴26:20 レビびとのうちアヒヤは神の宮の倉および聖なる物の倉をつかさどった。

1歴26:21 ラダンの子孫すなわちラダンから出たゲルシオンびとの子孫で、ゲルシオンびとの氏族の長はエヒエリである。

1歴26:22 エヒエリ、ゼタムおよびその兄弟ヨエエルの子たちは主の宮の倉をつかさどった。

1歴26:23 アムラムびと、イヅハルびと、ヘブロンびと、ウジエルびとのうちでは次のとおりであった。

1歴26:24 すなわちモーセの子ゲルシヨムの子シブエルは倉のつかさであった。

1歴26:25 その兄弟でエリエゼルから出た者は、その子はレハビヤ、その子はエサヤ、その子はヨラム、その子はジクリ、その子はシロミテである。

1歴26:26 このシロミテとその兄弟たちはすべての聖なる物の倉をつかさどった。これはダビデ王と、氏族の長と、1000人の長と、100人の長と、軍の長たちのささげたものである。

1歴26:27 すなわち彼らが戦いで獲たぶんどり物のうちから主の宮の修繕のためにささげたものである。

1歴26:28 またすべて先見者サムエル、キシの子サウル、ネルの子アブネル、ゼルヤの子ヨアブなどがささげた物、すべてこれらのささげ物はシロミテとその兄弟たちが管理した。

1歴26:29 イヅハルびとのうちでは、ケナニヤとその子たちが、つかさおよびさばきびととしてイスラエルの外事のために選ばれた。

1歴26:30 ヘブロンびとのうちでは、ハシャビヤおよびその兄弟など勇士1700人があって、ヨルダンのこなた、すなわち西の方でイスラエルの監督となり、主のすべての事を行い、王に奉仕した。

1歴26:31 ヘブロンびとのうちでは、系図と氏族によってエリヤがヘブロンびとの長であったが、ダビデの治世の第40年に彼らを尋ね求め、ギレアデのヤゼルで彼らのうちから大勇士を得た。

1歴26:32 ダビデ王は彼とその兄弟など氏族の長たち2700人の勇士をルゲンびと、ガドびと、マナセびとの半部族の監督となし、すべて神につける事と王お事とをつかさどらせた。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴27: 歴代志上 第27章

1歴17:1 イスラエルの子孫のうちで氏族の長、1000人の長、100人の長、およびつかさたちは年のすべての月の間、月ごとに交替して組のすべての事をなして王に仕えたが、その数にしたがえば各組24000人あった。

1歴17:2 まず第1の組すなわち正月の分はザブデエルの子ヤショベアムがこれを率いた。その組には24000人

あった。

1歴17:3 彼はベレヅの子孫で、正月の軍隊のすべての将たちのかしらであった。

1歴17:4 2月の組はアホアビとドダイがこれを率いた。その組には24000人あった。

1歴17:5 3月の第3の将は祭司エホヤダの子ベナヤが長であって、その組には24000人あった。

1歴17:6 このベナヤはかの30人のうちの勇士であって30人を率い、その子アミザバデがその組にあった。

1歴17:7 4月の第4の将はヨアブの兄弟アサヘルであって、その子ゼバデヤがこれに次いだ。その組には24000人あった。

1歴17:8 5月の第5の将はイズラビビとシャンモテであって、その組には24000人あった。

1歴17:9 6月の第6の将はテコアビとイケシの子イラであって、その組には24000人あった。

1歴17:10 7月の第7の将はエフライムの子孫であるペレヅであって、その組には24000人あった。

1歴27:11 8月の第8の将はゼラビとの子孫であるホシャビとシベカイであって、その組には24000人あった。

1歴27:12 9月の第9の将はベニヤミンの子孫であるアナトテビとアビエゼルであって、その組には24000人あった。

1歴27:13 10月の第10の将はゼラビとの子孫であるネトパビとマハライであって、その組には24000人あった。

1歴27:14 11月の第11の将はエフライムの子孫であるピラトンビとベナヤであって、その組には24000人あった。

1歴27:15 12月の第12の将はオテニエルの子孫であるネトパビとヘルダイであって、その組には24000人あった。

1歴27:16 なおイスラエルの部族を治める者たちは次のとおりである。ルベンびとのつかさはヂクリの子エリエゼル。シメオンびとのつかさはマアカの子シパテヤ。

1歴27:17 レビびとのつかさはケムエルの子ハシャビヤ。アロンびとのつかさはザドク。

1歴27:18 ユダのつかさはダビデの兄弟のひとりエリウ。イッサカルのつかさはミカエルの子オムリ。

1歴27:19 ゼブルンのつかさはオベデヤの子イシマヤ。ナフタリのつかさはアズリエルの子エレモテ。

1歴27:20 エフライムの子孫のつかさはアザジャの子ホセア。マナセの半部族のつかさはペダヤの子ヨエル。

1歴27:21 ギレアデにあるマナセの半部族のつかさはゼカリヤの子イド。ベニヤミンのつかさはアブネルの子ヤシエル。

1歴27:22 ダンのつかさはエロハムの子アザリエル。これらはイスラエルの部族のつかさたちであった。

1歴27:23 しかしダビデは20歳以下の者は数えなかった。主がかつてイスラエルを天の星のように多くすると言われたからである。

1歴27:24 ゼルヤの子ヨアブは数え始めたが、これをなし終えなかった。その数えることによって怒りがイスラエルの上に臨んだ。またその数はダビデ王の歴代志に載せなかった。

1歴27:25 アデエルの子アズマウテは王の倉をつかさどり、ウジヤの子ヨナタンは田野、町々、村々、もろもろの塔にある倉をつかさどり、

1歴27:26 ケルブの子エズリは地を耕す農夫をつかさどり。

1歴27:27 ラマテビとシメイはぶどう畑をつかさどり、シブミビとザブデはぶどう畑から取ったぶどう酒の倉をつかさどり、

1歴27:28 ゲデルビとバアル・ハナンは平野のオリブの木といちじく桑の木をつかさどり、ヨアシは油の倉をつかさどり、

1歴27:29 シャロンビとシテライはシャロンで飼う牛の群れをつかさどり、アデライの子シャパテはもろもろの谷における牛の群れをつかさどり、

1歴27:30 イシマエルビとオビルはらくだをつかさどり、メロノテビとエデヤはろばをつかさどり、

1歴27:31 カガルビとヤジズは羊の群れをつかさどった。彼らは皆ダビデ王の財産のつかさであった。

1歴27:32 またダビデのおじヨナタンは議官で、知恵ある人であり、学者であった。また彼とハクモニの子エヒエルは王の子たちの補佐であった。

1歴27:33 アヒトペルは王の議官。アルキビとホシャイは王の友であった。

1歴27:34 アヒトペルに次ぐ者はベナヤの子エホヤダおよびアビヤタル。王の軍の長はヨアブであった。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴28: 歴代志上 第28章

1歴28:1 ダビデはイスラエルのすべての長官、すなわち部族の長、王に仕えた組の長、1000人の長、100人の長、王とその子たちのすべての財産および家畜のつかさ、宦官、有力者、勇士などをことごとくエルサレムに召集した。

1歴28:2 そしてダビデ王はその足で立ち上がって言った、“わが兄弟たち、わが民よ、わたしに聞きなさい。わたしは主の契約の箱のため、われわれの神の足台のために安住の家を建てようとの志をもち、すでにこれを建てる準備をした。

1歴28:3 しかし神はわたしに言われた、‘おまえはわが名のために家を建ててはならない。おまえは軍人であつて、多くの血を流したからである’。

1歴28:4 それにもかかわらず、イスラエルの神、主はわたしの父の全家のうちからわたしを選んで長くイスラエルの王とせられた。すなわちユダを選んでかしらし、ユダの家のうちで、わたしの父の家を選び、わたしの父の子らの中で、わたしを喜び、全イスラエルの王とせられた。

1歴28:5 そして主はわたしに多くの子を賜わり、そのすべての子らの中からわが子ソロモンを選び、これを主の国の位にすわらせて、イスラエルを治めさせようとせられた。

1歴28:6 主はまたわたしに言われた、‘おまえの子ソロモンがわが家およびわが庭を造るであろう。わたしは彼を選んでわが子となしたからである。わたしは彼の父となる。

1歴28:7 彼がもし今日のように、わが戒めとわがおきてを固く守って行かうならば、わたしはその国をいつまでも堅くするであろう’。

1歴28:8 それゆえにいま、主の会衆なる全イスラエルの目の前およびわれわれの神の聞かれる所であなたがたに勤める。あなたがたはその神、主のすべての戒めを守り、これを求めなさい。そうすればあなたがたはこの良き地を所有し、これをあなたがたの後の子孫に長く嗣業として伝えること

28,8-1,伝えることができる。

1歴28:9 わが子ソロモンよ、あなたの父の神を知り、全き心をもって喜び勇んで彼に仕えなさい。主はすべての心を探り、すべての思いを悟られるからである。あなたがもし彼を求めらば会うことができる。しかしあなたがもしかれを捨てるならば彼は長くあなたを捨てられるであろう。

1歴28:10 それであなたは慎みなさい。主はあなたを選んで聖所とすべき家を建てさせようとしたから心を強くしてこれを行いなさい”。

1歴28:11 こうしてダビデは神殿の廊およびその家、その倉、その上の室、その打ちの室、贖罪所の室などの計画をその子ソロモンに授け、

1歴28:12 またその心にあつたすべてのもの、すなわち主の宮に庭、周囲のすべての室、神の家の倉、ささげ物の倉などの計画を授け、

1歴28:13 また祭司およびレビびとの組と、主の宮のもろもろの務の仕事と、主の宮のもろもろの務めの器物について授け、

1歴28:14 またもろもろの勤めに用いるすべての金の器を造る金の目方、およびもろもろの勤めに用いる銀の器の目方を定めた。

1歴28:15 すなわち金の燭台と、そのともしび皿の目方、おのおのの燭台と、そのともしび皿の金の目方を定め、また銀の燭台についてもおのおのの燭台の用法にしたがつて燭台と、そのともしび皿の銀の目方を定めた。

1歴28:16 また供えのパンの机については、そのおのおのの机のために金の目方を定め、また銀の机のためにも銀を定め、

1歴28:17 また肉さし、鉢、かめに用いる純金の目方を定め、金の大杯についてもおのおのの目方を定め、銀の大杯についてもおのおのの目方を定め、

1歴28:18 また香の祭壇のために精金の目方を定め、また翼を伸べて主の契約の箱をおおっているケルビムの金の車のひな型の金を定めた。

1歴28:19 ダビデはすべての工作が計画にしたがつてなされるため、これについて主の手によって書かれたものにより、これをことごとく明らかにした。

1歴28:20 ダビデはその子ソロモンに言った、“あなたは心を強くし、勇んでこれを行いなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。主なる神、わたしの神があなたとともにおられるからである。主なる神、わたしの神があなたとともにおられるからである。主はあなたを離れず、あな

28,20-1,離れず、あなたを捨てず、ついに主の宮の務のすべての工事をなし終えさせられるでしょう。

1歴28:21 見よ、神の宮のすべての務のためには祭司とレビびとの組がある。またもろもろの勤めのためにすべての仕事を喜んでする巧みな物が皆あなたと共にある。またつかさたちおよびすべての民もあなたの命じるところをことごとく行おう”。

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴\*\*\*:

1歴29: 歴代志上 第29章

1歴29:1 ダビデ王はまた全会衆に言った、“わが子ソロモンは神がただひとりを選ばれた物であるが、また若くて経験がなく、この事業は大きい。この宮は人のためではなく、主なる神のためだからである。

1歴29:2 そこでわたしは力をつくして神の宮のために備えた。すなわち金の物を造るために金、銀の物のために銀、青銅の物のために青銅、鉄の物のために鉄、木の物のために木を備えた。その他縞めのう、はめ石、アンチモニイ、色のついた石、さまざまの宝石、大理石などおびたしい。

1歴29:3 なおわたしはわが神の宮に熱心なるがゆえに、聖なる家のために備えたすべての物に加えて、わたしの持っている金銀の財宝をわが神の宮にささげる。

1歴29:4 すなわちオフルの金3000タラント、精金7000タラントをそのもろもろの建物の壁をおおうためにささげる。

1歴29:5 金は金の物のために、銀は銀の物のために、すべて工人によって造られるもののために用いる。だれかきょう、主にその身をささげる物のように喜んでささげ物をするだろうか”。

1歴29:6 そこで氏族の長たち、イスラエルの部族のつかさたち、1000人の長、100人の長、および王の工事をつかさどる者たちは喜んでささげ物をした。

1歴29:7 こうして彼らは神の宮の務のために金5000タラント1万ダリク、銀1万タラント、青銅18000タラント、鉄10万タラントをささげた。

1歴29:8 宝石を持っている者はそれをゲルシオンびとエヒエルの子によって神の宮の倉に納めた。

1歴29:9 彼らがこのように真心からみずから進んで主にささげたので、民はそのみずから進んでささげたのを喜んだ。ダビデ王もまた大いに喜んだ。

1歴29:10 そこでダビデは全会衆の前で主をほめたたえた。ダビデは言った、“われわれの先祖イスラエルの神、主よ、あなたはとこしえにはむべきかたです。

1歴29:11 主よ、大いなることと、力と、栄光と、勝利と、威光とはあなたのものです。・にあるもの、地にあるものも皆あなたのものです。主よ、国もまたあなたのものです。あなたは万有のかしらとして、あがめられます。

1歴29:12 富と誉とはあなたから出ます。あなたは万有をつかさどられます。あなたの手には勢いと力があります。あなたの手はすべてのものを大いならしめ、強くされます。

1歴29:13 われわれの神よ、われわれは、いま、あなたに感謝し、あなたの光栄ある名をたたえます。

1歴29:14 しかしわれわれがこのように喜んでささげることができても、わたしは何者でしょう。わたしの民は何でしょう。すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです。

1歴29:15 われわれはあなたの前ではすべての先祖たちのように、旅びとです、寄留者です。われわれの世にある日は影のようで、長くどどまることはできません。

1歴29:16 われわれの神、主よ、あなたの聖なる名のために、あなたに家を建てようとしてわれわれが備えたこの多くの物は皆あなたの手から出たもの、また皆あなたのものです。

1歴29:17 わが神よ、あなたは心をためし、また正直を喜ばれることを、わたしは知っています。わたしは正しい心で、このすべての物を喜んでささげました。今わたしはまた、ここにおるあなたの民が喜んで、みずから進んであなたにささげ物をするのを見ました。

1歴29:18 われわれの先祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ、あなたの民の心にこの意思と精神とをいつまでも保たせ、その心をあなたに向けさせてください。

1歴29:19 またわが子ソロモンに心をつくしてあなたの命令と、あなたのあかしと、あなたのさだめとを守らせて、これをことごとく行わせ、わたしが備えをした宮を建てさせてください”。

1歴29:20 そしてダビデが全会衆にむかって、“あなたがたの神、主をほめたたえよ”と言ったので、全会衆は先祖たちの神、主をほめたたえ、伏して主を拝し、王に敬礼した。

1歴29:21 そしてその翌日彼らは全イスラエルのために主に犠牲をささげた。すなわち燔祭として雄牛1000、雄羊1000、小羊1000をその灌祭と共に主にささげ、おびたしい犠牲をささげた。

1歴29:22 そしてその日、彼らは大いなる喜びをもって主の前に食い飲みした。彼らはさらに改めてダビデの小ソロモンを王となし、これに油を注いで主の君となし、またザドクを祭司とした。

1歴29:23 こうしてソロモンはその父ダビデに代り、王として主の位に座した。彼は栄え、イスラエルは皆彼に従った。

1歴29:24 またすべてのつかさたち、勇士たち、およびダビデ王の往時たちも皆ソロモン王に忠誠を誓った。

1歴29:25 主は全イスラエルの目の前でソロモンを非常に大いならしめ、彼より前のイスラエルのどの王も得たことのない王威を彼に与えられた。

1歴29:26 このようにエッサイの子ダビデは全イスラエルを治めた。

1歴29:27 彼がイスラエルを治めた期間は40年であった。すなわちヘブロンで7年世を治め、エルサレムで33年世を治めた。

1歴29:28 彼は高齢に達し、年も富も誉も満ち足りて死んだ。その子ソロモンが彼に代って王となった。

1歴29:29 ダビデ王の始終の行為は、先見者サムエルの書、預言者ナタンの書および先見者ガドの書にしるされている。

1歴29:30 そのうちには彼のすべての政と、その力および彼とイスラエルと他のすべての国々に臨んだ事どもをしるしている。